

総務委員会資料

所管事務の調査（報告）

川崎市市制 100 周年記念事業・

全国都市緑化かわさきフェアの取組等について

資料 1 川崎市市制 100 周年記念事業・全国都市緑化
かわさきフェアの取組について

資料 2 川崎市市制 100 周年記念事業実施計画
「Colors, Future! Actions プラン」素案
【概要版】

参考資料 1 川崎市市制 100 周年記念事業実施計画
「Colors, Future! Actions プラン」素案

参考資料 2 全国都市緑化かわさきフェアの取組状況

参考資料 3 川崎市市制 100 周年記念事業・全国都市緑化
かわさきフェア実行委員会 構成団体名簿

令和 5 年 2 月 8 日

総務企画局

1 事業概要

(1) 市制100周年記念事業

- 令和6年に迎える市制100周年の歴史的な節目に、市ブランドメッセージ「Colors,Future!いろいろって、未来。」を事業コンセプトとし、ブランドメッセージが意味する「多様性を認めあい、つながりあうことで、新しい魅力や価値を生み出すことができるまちを目指していく」ことを実現する機会とする。
- このコンセプトを具現化する場の設定や活動を記念事業プラットフォーム「Colors,Future!Actions」と総称して、市民一人ひとり・企業・団体等が自由に参加できる活動の場を設ける。
- 15のActionラベルを目印として、市内のさまざまな主体が重なりあい、つながりあいながら「Colors,Future!Actions」を展開
- 市制100周年記念事業の象徴的な事業として 全国都市緑化かわさきフェアを令和6年度に開催する。



市制100周年を機に、
川崎市を知って関わって好きになってもらう取組を推進
⇒シビックプライド（川崎への愛着と誇り）の醸成

(2) 全国都市緑化かわさきフェア

令和4年2月 「全国都市緑化かわさきフェア基本計画骨子」策定

・かわさきフェアでは、みどりが持つポテンシャルを効果的に活用し、これまで培ってきた川崎の強みや各地域の特色を活かしながら、各分野の取組と連携して、多様な主体がつながり、行動するきっかけとする市民総参加型のフェアとなるよう、フェア開催以降にもつながるさまざまな取組を、フェア開催前から展開していく。

名称

第41回 全国都市緑化かわさきフェア

主催者等

主催者：川崎市、公益財団法人都市緑化機構

実施主体：川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会（以下「実行委員会」という）

開催期間

令和6年10月中旬～11月上旬、令和7年3月上旬～3月下旬

会場

コア会場：富士見公園、等々力緑地、生田緑地

協賛連携会場等：駅、商業施設、民有空地、区役所、公園緑地

2 実行委員会の取組

(1) 実行委員会組織の概要

目的：市制100周年記念事業及びかわさきフェアの円滑な実施及び運営を一体的に推進する

会長：福田 紀彦（川崎市長）

設立日：令和4年9月1日

参画団体数：276団体（設立当初）

⇒ 307団体（R5.2.1時点）

◆ 第1回総会の開催

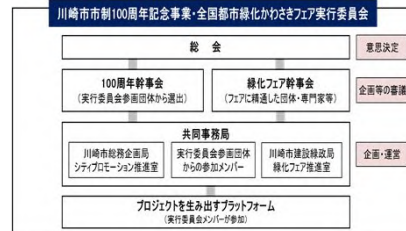
日時：令和4年9月1日

場所：川崎市産業振興会館

内容：市制100周年記念事業基本計画

「Colors,Future!Actions ガイド」、

令和4年度事業計画、収支予算等の承認



(2) 幹事会の活動状況

ア 100周年幹事会

役割：実行委員会が主体となって行う記念事業の企画及び実施に関すること等の審議

構成：実行委員会参画団体から本市の多様性や特色を踏まえ選出した12団体

	役職	氏名	所属
1	幹事長	浅岡 浩	川崎信用金庫 総合企画部長
2		向田 泰彦	川崎商工会議所 総務課長
3		若井 悠樹	株式会社 チッタ エンタテインメント 広報宣伝室係長
4		青山 浩	かわさき若者会議
5		館 勇紀	川崎市PTA連絡協議会 会長
6		大西 絵満	かわさき市民放送株式会社 代表取締役
7		荻野 るりか	社会福祉法人川崎市社会福祉協議会 総合研修センター課長
8		北嶋 朝香	一般社団法人川崎市観光協会 広報担当主任
9		内藤 達久	新百合ヶ丘エリアマネジメントコンソーシアム 事務局長
10	副幹事長	山口 貴義	富士通株式会社川崎工場 工場長代理
11		中山 紳一	日本電気株式会社玉川事業場 玉川総務部主幹
12		加藤 浩輝	味の素株式会社川崎事業所 次長

◆ 開催状況（直近の予定）

第1回 令和4年10月27日（事業展開、実施計画、広報）

第2回 令和5年1月13日（実施計画素案（案））

▶ 実行委員会主催事業の進め方に関する主な意見

・事業を進める上で、コンセプトだけでは具体的に「何を」するのか見えにくい

・例えば、「若者を応援する」のように、**メッセージレベルに焦点を絞ることが重要**

・100周年で「自分たちの生活がどう変わるのか」を意識できるようにする

⇒ **実施計画に記念事業に取組む「4つの視点」、「基本方針」、「基本理念」を追加**

第3回 令和5年3月上旬（実施計画案、第2回総会）



イ 緑化フェア幹事会

役割：専門的な見地からの事業の企画、調整、実施等に係る審議助言

構成：各分野に精通した団体・専門家から選出

	分野	氏名	所属
1	学識	福岡 孝則（幹事長）	東京農業大学地域環境科学部造園科学科 准教授
2	協働推進	栗原 国男（副幹事長）	東京農業大学地域環境科学部地域創成学科 非常勤講師 公園緑地協会嘱託
3	出展展示	深町 貴子	園芸家・多摩区在住
4	交通対策	米川 僚一	一般社団法人 川崎市交通安全協会 専務理事
5	会場運営	渡辺 広之	京都芸術大学芸術教養センター 客員教授
6	行催事	反町 充宏	一般社団法人 川崎市商店街連合会理事・青年部長
7	広報・PR	大西 絵満	かわさき市民放送株式会社 代表取締役
8	植物調達	矢澤 和洋	セレサ川崎農業協同組合 営農経済本部 組織部組織支援課 課長代理
9	植物管理	今井 伸之	川崎市造園建設業協同組合 副理事長
10	飲食・物販	萩原 ひとみ	一般社団法人 川崎市観光協会 理事

◆ 開催状況（直近の予定） ※グループヒアリングや個別ヒアリングを別途実施

第1回 令和4年9月30日（会場計画、協働、共創の取組）

【主な意見】木や花の見頃を踏まえると、「秋は時期を遅らせること」「春は3月下旬からの開催」が望ましいとの幹事からの意見や、富士見公園の整備完了時期、土日祝日の状況、後催事である岐阜県の開催日（R7.4月下旬～）等を踏まえて、具体的な日にちを設定。

令和6年10月中旬～11月上旬(20日間程度)

令和7年 3月上旬～3月下旬(30日間程度)

令和6年10月19日(土)～11月17日(日) (30日間)

令和7年 3月22日(土)～4月13日(日) (23日間)

第2回 令和5年2月27日（予定）（現地視察、進捗状況等）



(3) 事業創出に向けた取組

ア 共同事務局コアメンバーの公募

民間企業が持つノウハウを活かして、官民連携で実行委員会主催の市制100周年記念事業を企画・実行していくため、共同事務局内で活躍するメンバー（コアメンバー）を募集した。

◆ 募集概要

- 対象：実行委員会に所属する企業・団体
- 期間：令和4年11月7日～28日（エントリー締切）
- 役割：記念事業や機運醸成の企画・実施
- 人数：5名程度
- 任期：承認された日から記念事業終了まで



◆ 市制100周年プロジェクト検討チームの発足 公募・選考の結果、次の3名を採用した。

	氏名	所属
1	内山 剛志	味の素株式会社 川崎事業所 総務企画グループ
2	池田 圭佑	富士通株式会社 未来社会&テクノロジー本部 マネージャー
3	須之部 為師	株式会社ホリプロ 経営管理本部経営企画部 川崎プロジェクトチーム 副部長

◆ 活動状況

令和4年12月23日から週1回定期的に打ち合わせを開催しており、市制100周年記念事業の企画や機運醸成に向けた広報の取組等の検討を進めます。

イ みどりの共創プロジェクト（共創の取組第1弾）

かわさきフェアの開催を機に、みどりの力を活かし、市民、企業、大学、行政等の多様な主体との共創により、「みどりをつなげる、暮らしやすく、住み続けたいまち」の実現を目指す。

◆ 開催状況（予定含む）

- 令和4年10月4日 キックオフセミナー
- 10月20日 第1回ワークショップ（テーマ別課題の深耕）
- 11月25日 第2回ワークショップ（モデル事業案の検討）
- 12月21日 第3回ワークショップ（中間報告）
- 令和5年2月2日 第4回ワークショップ（発表準備）
- 3月1日 シンポジウム（提案発表会、パネルディスカッション等）



ウ アイデアの種の募集

さまざまなActionを検討する上でのアイデアとして、また、実行委員会参画団体同士が、つながり、新たなActionを始める「きっかけ」となるツールとして活用する。

◆ 取組状況（募集期間：令和4年11月8日～令和5年1月10日）

(4) 広報の取組

- ◆ 市制100周年記念事業公式ウェブサイトの開設（令和4年11月18日）
- ◆ 実行委員会向けメールマガジンの発行（令和5年1月27日 Vol. 4 発行）

(5) 今後の主なスケジュール

◆ 第2回総会の開催（予定）

- 日時：令和5年3月24日（金）午後 NEC玉川ルネッサンスシティホール
- 議事内容：実施計画案、令和5年度事業計画、令和5年度予算、活動状況の報告など

3 市の取組

(1) 市が主催する100周年記念事業の実施に向けた取組

市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア推進本部（本部長：市長）における、庁内の総合調整の実施

- ・ 令和4年度は庁内検討会議を5回、本部会議を3回実施し、取組状況等を共有
- ・ 各局区ワーキングを開催して、令和5、6年度に市が主催する記念事業の企画・調整を実施
- ・ 令和6年度における記念事業の実施に向けて、引き続き各局区ワーキング等を開催して調整

(2) 機運醸成に向けたPRの実施

◆ 市制100周年PRポスター

令和6年7月1日に迎える市制100周年に向け、市制100周年記念事業「Colors, Future! Actions」のステートメントポスターと各区版ポスター7種の全8種を作成。

7区各区内で撮影された古い白黒写真等を用いて、各区の“昔”を知ってもらい、地域への興味を喚起する。（合計約5,000枚を掲出）

【掲出計画】令和4年12月22日～令和6年3月31日

➢ 主な掲出先

- ・ 市内公共施設
- ・ 市内鉄道路線各駅
- ・ デジタルサイネージ
- ・ 実行委員会参画団体の関連施設
- ・ その他協力施設 など

ステートメントポスター



【川崎区】銀柳街



【幸区】新鶴見操車場



【中原区】丸子橋付近



【高津区】久地円筒分水



【宮前区】東名川崎IC



【多摩区】枳形山展望台



【麻生区】百合ヶ丘団地



◆ 白黒写真カラー化プロジェクト（ガバメントクラウドファンディングで実施）

1年後の市制100周年に向け、川崎のこともっと知ってもらい、身近に感じてもらうために、まちのさまざまな白黒写真20枚をカラー化し、写真にまつわるストーリーを添えたパネル作品をかわさきマイスター（印刷技能士：流石栄基氏）の御協力により制作した。

【広報計画】

令和5年1月5日開始

- ・ 市役所・区役所などでパネルの巡回展示を実施
- ・ 市ホームページにすべての作品を掲載



◆ 市政だより令和5年1月号

<特集ページ>

「市制100周年まであと1年」

◆ 緑化フェア

各種イベントに出展するなど、機運醸成に向けたPR等を実施



4 令和5年度の主な取組

○ 市制100周年記念事業

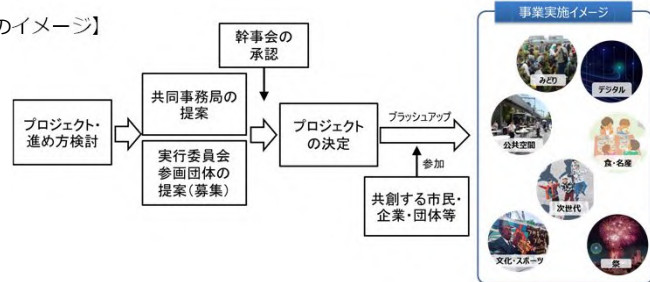
(1) 実行委員会が主体となる事業の検討・推進

令和6年度に実施するプロジェクトの実現を見据えて、プレ事業を試験的に実施しながら、引き続き主催事業の企画を進めるとともに、実施されたActionをニュースコンテンツとして発信するなどの広報を行い、多様な主体による事業の創出と機運醸成を促進する取組を進める。

▶ 実行委員会主催事業の検討・推進

実行委員会が主体となり、「Colors, Future! Actions」を体現する事業を実施するもので、共同事務局を中心に、実行委員会参加団体とも連携し、さまざまなプロジェクトを検討する。また、市民・企業・団体等と共創しながら官民連携で事業を推進し、取組を展開していく。

【進め方のイメージ】



▶ 「フェス&カンファレンス」の試験的な実施

「Colors, Future! Actions」のショーケースとして、取組の認知拡大・機運醸成・盛り上げにつなげる誰もが楽しめる「フェス&カンファレンス」を開催する。令和5年度はプレ事業として実験的に開催し、令和6年度の本格開催を目指す。



「フェス&カンファレンス」

- ① 「あたらしい川崎」を考えるきっかけとなる市民・企業等が参加するカンファレンス（講演・対話の場）
 - ② 新たな取組や既存イベントと連携したフェスティバル
- これらを一体的に取組むイベント

▶ 実行委員会参加団体主催事業・パートナー主催事業の推進

「フェス&カンファレンス」や共通の興味テーマを持つ人たちが集まって交流を深めるイベント等を通じて機運を醸成し、さまざまな主体による事業の創出を促進する。

(2) 市が主体となる事業の推進

ア 市制100周年記念事業に係るプロモーション等の推進

市制100周年記念事業のPRポスター、動画、記念誌等の広報物の企画・制作、メディアミックスによる戦略的な広報・多角的なプロモーションを展開して、多くの方に川崎の魅力を発信する。

▶ 市と実行委員会との連携した広報の展開

広報の役割分担をしながら、川崎の多様で多彩な企業・団体・市民による未来づくりを発信する。



市が実施する「知ってもらおう広報」 ※実施イメージ

イ 市主催事業の推進 59事業 (※別紙参照)

各局区が所管する既存の施策・事務事業に取り組む中で、100周年を契機として、一步先を目指す+αのチャレンジを行う。

- ・ 記念事業のコンセプトやステートメントを踏まえ、多くの市民・企業・団体等が参加しながら「あたらしい川崎」を生み出し、未来につなげていけるよう、令和5年度の準備期間においては、市制100周年・全国都市緑化かわさきフェアの機運醸成に向けたPRや令和6年度の記念事業を見据えた準備・検討、イベントなどの59事業を実施する。
- ・ 時間軸や開催場所等を意識し、さまざまな取組と連携を図りながら一体的に事業を進めていく。
- ・ 市制100周年記念事業のロゴマークや15のアクションテーマのラベルを用いた広報を行うとともに、市制100周年記念事業公式ウェブサイトや今後開催予定の「フェス&カンファレンス」などを通じて効果的に情報発信し、令和6年度の記念事業の実施に向けて統一感を持って取り組む。
- ・ 59事業以外にも、記念事業の趣旨等を踏まえたさまざまな取組を市が主体となり進めていく。

① 「機運醸成に向けたPR事業」の推進 (8事業)

市制100周年に向けて、既存の事業や取組を活用したPR活動を展開し、機運醸成を図っていく。

② 「ひとりひとりの好きをつなぎ、かけ合わせて、一緒に川崎を育てる」取組の推進 (25事業)

- ・ 障害者や子どもなど誰もがスポーツを楽しめる未来づくりに向けた取組
- ・ まちづくりが進行中の登戸駅周辺の公共空間を活用し多様な主体と連携してさまざまな体験ができる場を創出する取組 など



バリアフリーなスポーツ大会 公共空間を活用した体験

③ 「たくさんの人たちに感謝を抱きながら、あたらしい川崎を未来へつなぐ」取組の推進 (16事業)

- ・ これまでの環境関連の記録写真等をデジタルアーカイブ化し、過去と未来を考える取組
- ・ 「ふるさと資産・遺産」を活用し、多摩川の歴史文化を子どもたちに伝える取組 など



デジタルアーカイブの開設 昔の「丸子の渡し」の様子

④ 「みどりで、つなげる。みんなが、つながる。」取組の推進 (10事業)

- ・ 子どもと大人が「みどり」を一緒に育み、地域への愛着やつながりを創出する取組
- ・ 市民と連携した栽培体験等を通じて、古くから伝わる郷土野菜を次世代に継承する取組 など



「みどり」でつながる様子 郷土野菜の継承

○ 全国都市緑化かわさきフェア推進事業

令和6年度の秋・春に全国都市緑化かわさきフェアを市内の三大公園（富士見公園、等々力緑地、生田緑地）を中心に、市内全域を会場として開催し、市民、企業等の皆さんと一緒に川崎らしい都市の中のみどりの価値を発信していく。

◆ 実行委員会が主体となる事業の検討・推進

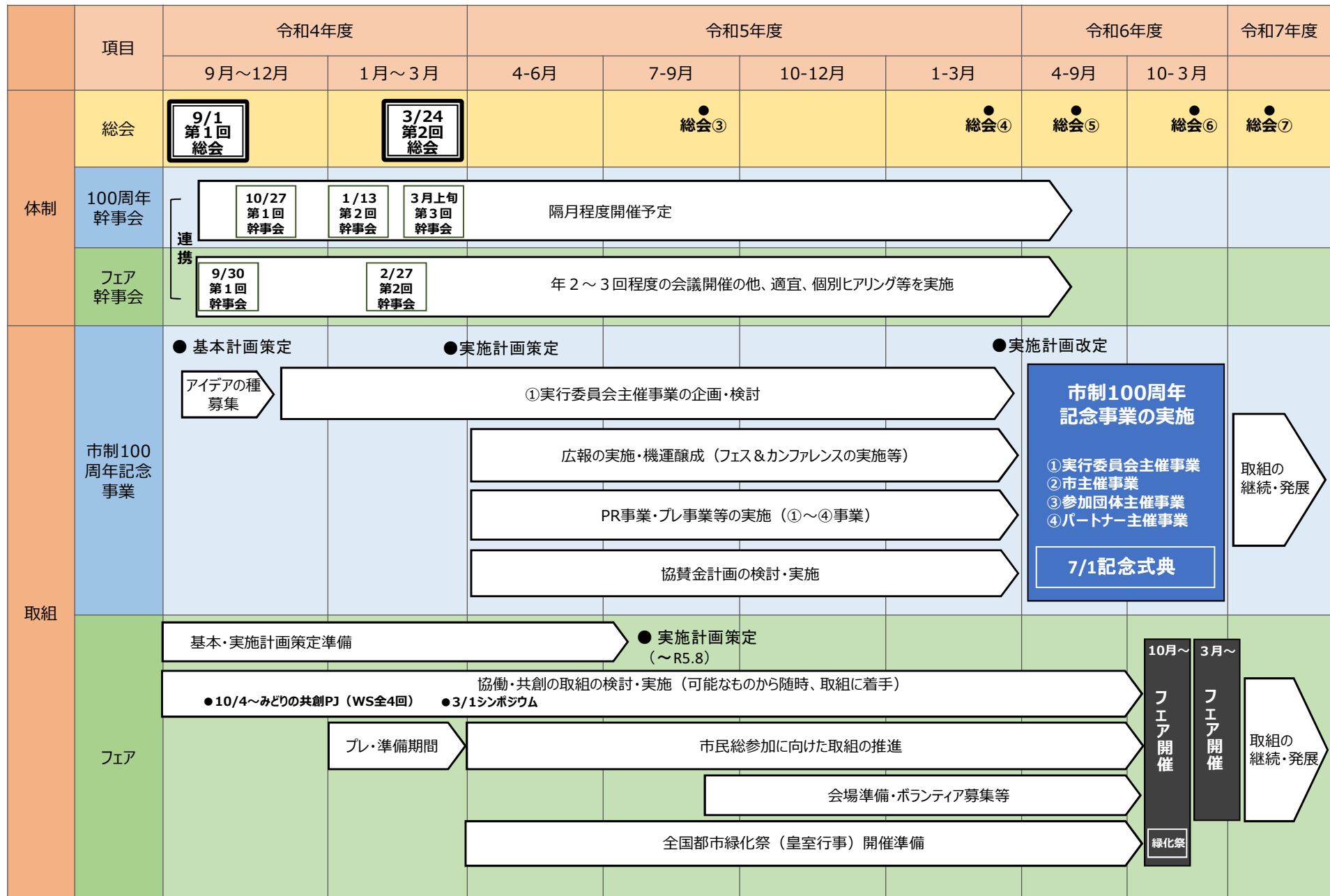
令和6年度のかわさきフェア開催に向けて、基本・実施計画を策定するとともに、市民総参加型のフェアの実現に向けた周知拡大や機運醸成を図り、多様な主体との協働・共創による取組を推進する。

◆ 関連施設整備等

かわさきフェア開催に向けて関連施設等の整備を推進するとともに、市主催の事業等と連携を図っていく。

川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェアの取組について

5 市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア 今後のスケジュール



市制 100 周年記念事業 令和 5 年度に実施予定の市主催事業について

別紙

◆ 市主催事業 59 事業

- ・基本的には、各局区が所管する既存の施策・事務事業に取り組む中で、100 周年を契機として、一歩先を目指す+αのチャレンジを行うものです。
- ・記念事業のコンセプトやステートメントを踏まえ、多くの市民・企業・団体等が参加しながら「あたらしい川崎」を生み出し、未来につなげていけるよう、令和 5 年度の準備期間においては、市制 100 周年・全国都市緑化かわさきフェアの機運醸成に向けた PR や令和 6 年度の記念事業を見据えた準備・検討、プレイベントなどの 59 事業を、各局区で実施します。
- ・事業の実施にあたっては、時間軸や開催場所等を意識し、さまざまな取組と連携を図りながら一体的に進めていきます。
- ・市制 100 周年記念事業のロゴマークや 15 のアクションテーマのラベルを用いた広報を行うとともに、市制 100 周年記念事業公式ウェブサイトや今後開催予定の「フェス&カンファレンス」などを通じて記念事業を効果的に情報発信し、令和 6 年度の記念事業の実施に向けて統一感を持って取組を進めていきます。
- ・下記 59 事業以外にも、記念事業の趣旨等を踏まえたさまざまな取組を、市が主体となり進めていきます。

①「機運醸成に向けたPR」事業の推進 8 事業

No	局区	取組概要	関連する事業
1	市民文化局	川崎・しんゆり芸術祭(アルテリッカ)において、「緑」をテーマとした公演等の開催を通じて、市制 100 周年及び緑化フェアの周知に向けた取組を進めます。	文化のまちづくり推進事業費
2	こども未来局	使われなくなった身近にあるものを材料にしたおもちゃ作りなどを通して、SDGs やエコロジーへの意識を高め、100 年先の未来のために、環境への意識を高める取組を進めます。	公立保育所運営費
3	まちづくり局	木材利用の普及啓発イベントである「優しい木のひろば」において、市制 100 周年を迎えることを PR しながら、木の良さや木材利用の意義を広く知っていただくための取組を進めます。	まちづくり企画事業費
4	川崎区	様々なイベントを活用し、来場者に川崎の花等を活用した写真撮影とともに、次の 100 年に向けたメッセージを記載してもらうなど、市制 100 周年及び緑化フェアの PR を行うとともに、次の 100 年を考えるきっかけとなる取組を進めます。	地域資源を活かしたまちづくり事業費
5	高津区	溝口駅前キラリデッキイルミネーション等集客の多い民間イベントを活用し、幅広い市民層への市制 100 周年の周知を図るなど、地域への愛着を深める取組を進めます。	地域資源活用事業費
6	麻生区	区主催イベントやしんゆりフェスティバル等のイベントでの啓発品の配布や出展を通じて、市制 100 周年の PR をするなど、地域への愛着を深める取組を進めます。	芸術・文化のまちづくり事業費
7	宮前区	市制 100 周年に向けた周知を図るため、川崎の北の玄関口である東名川崎インターチェンジ前に設置したイメージアップサイン看板の更新を行います。	地域課題対応その他事業費
8	人事委員会事務局	市制 100 周年事業に関するイベントを体験できる「1day 現場見学会」の実施や、市の取組を HP やパンフレットで紹介することで、職員として働くことの魅力を伝える取組を進めます。	調査・任用経費

②「ひとりひとりの好きをつなぎ、かけ合わせて、一緒に川崎を育てる」取組の推進 25 事業

No	局区	取組概要	関連する事業
9	総務企画局	市制 100 周年を契機として、川崎への愛着・誇りの醸成、川崎の認知度やイメージ向上を図るため、「かわさきスペシャルサポーター」と連携した取組を進めます。	シティプロモーション推進事業費
10	市民文化局	市民一人ひとりのつながりや支え合いの心が感じられる 100 人 100 通りのポスターを作成し、つながりの大切さや支えあいの機運醸成を図ります。	自治推進事業費
11	市民文化局	障害者や子どもなど誰もがスポーツを楽しめる未来づくりに向けた取組を進めます。	市民スポーツ推進費
12	市民文化局	障害者、子どもなど誰もが参加できる未来づくりをめざし、車いす専用部門の創設など、かわさき多摩川マラソンの環境整備を進めます。	市民スポーツ推進費
13	市民文化局	ブレイクンに関する世界大会に向けた機運醸成イベントの支援や体験会を実施するなど、若者文化の定着に向けた取組を進めます。	市民スポーツ推進費
14	市民文化局	ダブルダッチ等に関する世界大会に向けた機運醸成イベントの支援や体験会を実施するなど、若者文化の定着に向けた新たな取組を進めます。	市民スポーツ推進費
15	経済労働局	社会的バリアの解消に向けた意識の共有をめざすため、福祉現場のニーズや課題を捉えた、福祉製品の創出に向けた取組を進めます。	中小企業支援事業費
16	環境局	手軽に生きものの写真を投稿できるスマホアプリを活用した市民投稿による「生きもの図鑑づくり」を通じて、「生物多様性」や「みどり」の大切さを実感してもらう機会を創出します。	環境調整事業費
17	環境局	市民の行動変容を促す機会として、武蔵溝ノ口駅自由通路の木質化等の取組を展開し、脱炭素社会の実現に向けた取組を進めます。	地球温暖化対策事業費
18	健康福祉局	多様な主体による地域包括ケアシステム構築に向けた取組を市民が共有できる機会を提供し、誰もが安心して暮らしていることができる社会の実現に向けた機運醸成等を更に後押しします。	地域包括ケアシステム推進事業費
19	健康福祉局	動物愛護の精神やボランティア等の取組を 100 周年を契機に市民が知り・体験する機会を提供し、人と動物の共生する社会の実現に向けた取組を進めます。	動物愛護事業費
20	こども未来局	子どもの権利に関する条例を全国で初めて制定した本市が市制 100 周年に向け、子どもたちを中心としたワークショップ等を通じて子どもの権利に関する教材を作成し、子どもにやさしいまちであることを再確認することで、シビックプライドの醸成に繋がっていきます。	子どもの権利施策推進費
21	こども未来局	バラスポーツであるポッチャについて、子どもを中心とした大会を開催し、100 周年を契機に誰もが活躍できるという経験やチームで取り組む楽しさ等を知ってもらう機会を創出します。	公立保育所運営費
22	こども未来局	園児がまちの中にある身近な「100」にまつわるものを発見したり、まちの歴史や昔の知恵や工夫を学んだりする機会等を提供します。	公立保育所運営費
23	こども未来局	100 周年を契機に川崎の伝統的な郷土料理のアレンジレシピを考案し、「食」を楽しみながらまちの歴史を学ぶことで、まちに対する興味・関心を深める機会を提供します。	公立保育所運営費
24	まちづくり局	まちづくりが進行中の登戸駅周辺の公共空間を活用し、多様な主体と連携して様々な体験ができる場を創出する取組を進めます。	登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区まちづくり推進事業費
25	まちづくり局	川崎駅周辺地区の公共空間、地域資源を活用し、まちづくりを担う人材を発掘する契機とするとともに、誰もが笑顔で過ごせる都市空間を創出します。	川崎駅周辺総合整備事業費
26	まちづくり局	川崎駅西口大宮町地区における地域資源を生かした公共空間の有効活用併せてイベント等の実施及び駅周辺の施設や団体とウォークアブルなまちづくりを展開し、アートを通じた更なる地域活性化に向けた取組を進めます。	川崎駅周辺総合整備事業費
27	港湾局	港湾の仕事に関するデジタルコンテンツを作成するなど、未来の港湾物流の担い手の確保につながる取組を進めます。	港湾振興事業費
28	幸区	幸区内の障害者施設等と連携したイベント等の開催を通じ、幸区にゆかりのある絵本作家「かこさとし」さんが大切にしていた「個性」や「多様性」についての理解の定着化に向けた取組を進めます。	地域資源活用事業費
29	幸区	川崎駅西口周辺の地元町内会や事業者等と連携し、公共空間を活用した回遊性のあるイベント等を開催し、まち全体の賑わいに繋げ、多世代が楽しむことができる取組を実施します。	地域資源活用事業費
30	中原区	ブランドメッセージをテーマに区民からメッセージを集めるなど、多様な主体が連携したパネルアートの作成に向けた取組を進めます。	地域課題対応その他事業費

No	局区	取組概要	関連する事業
31	消防局	100 周年記念として、カラーガード隊のフラッグを各地区少年消防クラブが自分たちでデザインし、各種イベントへの参加を企画することで、消防への興味や担い手の育成につなげる取組を進めます。	消防普及啓発事業費
32	教育委員会事務局	学校に関わる地域人材を増やししながら、放課後等の時間を活用した、多様な体験・経験ができる仕掛け(環境)づくりに取り組みます。	学校施設有効活用事業費
33	教育委員会事務局	市制 100 周年をテーマとした自作絵本作りの講座を開催し、絵本を通じて川崎を知り、未来を考えるきっかけとなる取組を進めます。	教育振興費

③「たくさんの人たちに感謝を抱きながら、あたらしい川崎を未来の人たちへつなぐ」取組の推進 16 事業

No	局区	取組概要	関連する事業
34	総務企画局	シビックプライドの醸成や都市イメージの向上を図るため、市内の魅力スポーツ等の画像データをオープンデータとしてウェブ上に公開し、誰もが自由に活用できるよう取組を進めます。	シティプロモーション推進事業費
35	市民文化局	誰もが気軽に若者文化にふれることができるまちをめざし、ミュージカルアートなどを活用した取組を進めます。	文化芸術振興事業費
36	市民文化局	本市の過去・未来を考える機会として、本市の記録映像を活用した上映会やワークショップなどを実施し、映像を通じた新たなつながりを創出し、発信していきます。	文化のまちづくり推進事業費
37	経済労働局	令和 6 年度実施の市制 100 周年特別記念多摩川花火大会の開催に向けて、動画配信等の新たな試みを取り入れ、ふるさと川崎の更なる意識の高揚につなげる取組を進めます。	観光事業費
38	環境局	ペットボトルやプラスチックをリサイクルした製品等を作製し、プラスチック資源循環に向けた取組を推進します。	廃棄物企画事業費
39	環境局	これまでの環境関連の記録写真等をデジタルアーカイブ化するとともに、川崎の発展と環境の歴史を振り返り、川崎の未来を考える企画展開催等の取組を進めます。	環境総合研究推進事業費
40	環境局	ポイ捨てのない、きれいなまちを目指し、未来に残していくため、若い世代等と連携、協働した環境美化活動を実施します。	減量リサイクル推進費
41	こども未来局	誰もがお互いを尊重できる 100 年先の未来の実現に向けて、子どもたちの「こんなまちになったらいいな」というアイデアをみんなで話し合い、その具現化に取り組みます。	公立保育所運営費
42	建設緑政局	古くから多摩川にあった渡し場の一つである「登戸の渡し」を市民協働で復活させ、多摩川の歴史文化を子どもたちに伝える取組を進めます。	多摩川施策推進事業費
43	臨海部国際戦略本部	高度な産業が集積する川崎臨海部の企業等と連携し、ものづくりや科学の楽しさに触れる取組を進めます。	臨海部活性化推進事業費
44	危機管理本部	市制 100 周年・関東大震災から 100 年を迎えることを契機として、これまでの災害に学びつつ、これからの 100 年に備えるために、今後の地域防災のあり方等について広報・啓発を行います。	危機管理対策事業費
45	川崎区	来年度開催予定の東海道シンポジウム川崎大会会場において、川崎宿の浮世絵や本市の未来を表現したペットボトルキャップアートを制作、展示し、「これからのかわさき」を考えるきっかけとなる取組を進めます。	地域資源を活かしたまちづくり事業費
46	中原区	小杉駅周辺の公共空間を活用して 100 周年にちなんだ企画を実施し、住民が体験を共有すること等で、更なる地元意識、地域への愛着を深める取組を進めます。	地域課題対応その他事業費
47	高津区	「高津ふるさとアーカイブ」で収集した古写真を使って、転入者や若年層にも地域の歴史を学んでいただくとともに、地域に関心を持つきっかけ作りにつながる取組を進めます。	地域資源を活かしたまちづくり事業費
48	麻生区	市民協働の取組と連携し、区内の各所を巡り、史跡や街の成り立ちや 100 年の歴史を振り返るウォーキングを実施するなど、地元への愛着等を深めながら、健康づくりに繋げる取組を進めます。	芸術・文化のまちづくり事業費
49	麻生区	区々の環境や街の歴史・発展を感じつつ、歴史を振り返りながら、ハイキング等を楽しむことができる取組を進めます。	コミュニティづくり事業費

④「みどりで、つなげる。みんなが、つながる。」取組の推進 10 事業

No	局区	取組概要	関連する事業
50	経済労働局	市民と連携した栽培体験等を通じて、古くから伝わる郷土野菜を次世代に継承する取組を進めます。	農林業振興事業費
51	こども未来局	100 年先の未来を見据えたまちづくりの一歩として、地域の中で大人と子どもがともにみどりを育むことで、いつもの身近な場所が“お気に入りの場所”になるよう取り組みます。	公立保育所運営費
52	建設緑政局	地域の誇りとなる空間の創出に向けて、街路空間と周辺の緑地や公園を結び、多様なみどりに触れられる「さんぼみち」を展開します。	緑地保全事業費
53	建設緑政局	多世代への夢見ヶ崎動物公園の魅力発信に向け、展示動物や飼育・保護業務などの取組を市民協働により映像化するなど、命の大切さを伝える「学びの場づくり」を進めます。	公園緑地施設整備事業費
54	建設緑政局	本市最大の緑の拠点である生田緑地において、「みどりの価値」に加え、直面する課題やこれに対応する市民活動等を映像化し、持続可能な里山づくりに向けた取組を進めます。	公園緑地施設整備事業費
55	幸区	幸区内の町内会や学生等と連携し、公園等に花木植えを行うなど、うるおいと緑あるまちへの取組を進めることで、市民の地元への愛着や緑化フェアへの機運を高めていきます。	地域資源活用事業費
56	多摩区	樹木選定過程から地域と協働して行う 100 周年記念植樹に向けた取組を実施することで、地域に対する愛着心を醸成します。	市民自治を進めるまちづくり事業費
57	病院局	市立川崎病院の正面玄関付近に植栽を配置するなど、利用者にとって快適な病院環境を創出する取組を進めます。	市制 100 周年記念事業費
58	病院局	市立井田病院の芝生エリアの歩道にボランティアが育成した花を飾ったフラワーアーチを設置し、快適な病院環境を創出する取組を進めます。	市制 100 周年記念事業費
59	消防局	廃棄する防火衣や消防ホースを高等学校等でデザイン、園芸用エプロン等へ再利用することで、緑化フェアや地域のイベントで活用し、火災予防の啓発等に繋がります。	消防普及啓発事業費

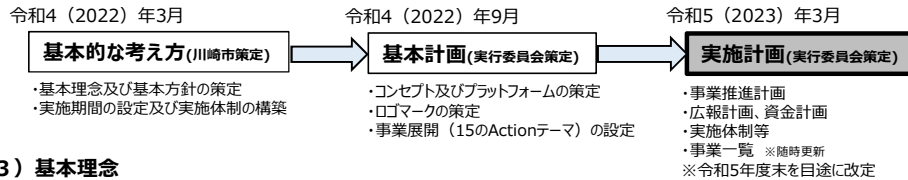
令和6（2024）年7月1日に迎える市制100周年という歴史的な節目に向けて、令和4（2022）年9月に策定した基本計画「Colors, Future! Actionsガイド」に基づき、記念事業を進めるにあたっての各種計画や実施される事業などをまとめた実施計画「Colors, Future! Actionsプラン」を令和5（2023）年3月に策定します。市は、実施計画を策定する川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会の一主体として、記念事業を一過性のイベントとせず、記念事業で生まれた新たな活動や価値から川崎の文化や未来をつくりだし、この先100年に向けた市の成長の機会とする事業としていくため、計画策定に向けて、実行委員会と連携して取り組んでまいります。

1 計画の概要

(1) 計画の目的と位置づけ

記念事業を進めるにあたっての各種計画や実施される事業などをまとめたもの

(2) 計画の体系



(3) 基本理念

川崎市は、多様なバックグラウンドや価値観、能力を持つ人たちが、共に暮らし、働き、そして互いに認め合い、支え合い、高め合うことで発展してきました。市制100周年という歴史的な節目に、先人の努力や功績に感謝し、時代とともに変貌してきた川崎市のこれまでのあゆみや歴史・文化を知り、**川崎市の発展を支えてきた「多様性」の価値を改めて共有し**、市民に「愛着」と「誇り」を持っていただく機会とします。さらに、将来にわたって、誰もが暮らしやすい笑顔あふれる「最幸のまち」へとつなげていくため、この契機を**未来に向けた活力ある「あたらしい川崎」を生み出していく新たなスタートライン**とします。

(4) 基本方針

- 川崎市ブランドメッセージへの共感を喚起する。
- 新たな100年に向けて、文化として根付くムーブメントを起こす。
- 市民一人ひとりのシビックプライドを醸成する。



(5) 実行委員会の設立

オール川崎市で取組を進めるため、さまざまな企業・団体・川崎市等で構成される「川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会」を設立

(6) コンセプト

川崎市ブランドメッセージ「Colors,Future! いろいろって、未来。」

(7) プラットフォーム「Colors,Future! Actions」

記念事業のコンセプトを具現化する場の設定や活動を記念事業プラットフォーム「Colors,Future! Actions」と総称して、市民一人ひとり・企業・団体等が自由に参加できる活動の場を設けます。



(8) プラットフォーム・ステートメント

ステートメントを通じて、一人ひとりの好きを掛け合わせることで、多様で多彩な「Action」を記念事業で生み出していくための想いを共有していきます。



(9) 15のActionテーマ

「Colors,Future! Actions」に関わるさまざまな主体が、「より川崎がよくなる」「より川崎を好きになる」ことにつながる取組として、自分ならどんなActionができそうか企画・検討しやすくなるために、「より川崎をよくなる」取組の「目印」を15個示して、「Actionテーマ」として設定します。



(10) Actionテーマ使用イメージ

生み出されたさまざまな「Action」には、関連するActionテーマをラベリングし、テーマごとにまとめて、実行委員会公式WEBサイト等で分かりやすく発信します。

(11) 記念事業ロゴマーク

記念事業のコンセプトでもある川崎市ブランドメッセージのロゴマークと一体的に使用できる記念事業プラットフォーム「Colors,Future! Actions」のロゴマークを制作し、記念事業のシンボルとして広くPRします。



記念事業ロゴマークと川崎市ブランドメッセージ

(12) 記念事業期間

記念事業期間：令和6（2024）年4月1日～令和7（2025）年3月31日

それ以前についても、準備期間として、市制100周年に向けて川崎市全体の機運を高めるためのPR事業等の実施や記念事業に向けたさまざまな活動等を行います。

(13) 時期ごとの目的・事業

準備期間におけるPR事業やActionを特に区別して呼ぶ場合は、「プレ事業」とします。

	準備期間（令和5(2023)年度）	記念事業期間（令和6(2024)年度）
目的	「川崎を知ろう」	「記念事業に関わって」 →「川崎を好きになろう」
PR事業	川崎市が市制100周年を迎えること等を広く周知するPRを中心に実施（プレ事業）	多彩なActionの取組を広報し、記念事業に関わってもらうPRを中心に実施
Action	令和6年度の記念事業実施に向けて先導していくAction（プレ事業）	記念事業のコンセプトを踏まえた多彩なAction

2 事業推進計画

(1) 市制100周年記念事業に取り組む視点

基本理念や基本方針、コンセプトを踏まえ、次の100年に向けた多様で多彩なActionを生み出していきあたり、次の4つの視点により記念事業を進めていくこととします。

- 【視点1】 共創による社会課題の解決と未来への挑戦**
市民、企業、団体等との共創により、行政だけでは解決しにくい社会課題の解決を図るとともに、川崎からはじまる新しい未来や文化を創造するきっかけとなるさまざまな可能性に挑戦します。
- 【視点2】 川崎を好きになる事業の展開**
多くの市民が、川崎市の歴史や魅力、多様性の価値を知りながら、関わっていくことで、川崎市への愛着が次々に生まれ、「好き」があふれる川崎を生み出していききっかけとなる事業を展開します。
- 【視点3】 これからの100年を担う若年層を中心とした「あたらしい川崎」を生み出す取組の展開**
これからの100年を担う若年層を中心に、一人ひとりが川崎の未来を考え、川崎の未来のために行動し、「あたらしい川崎」を生み出していけるような取組を進めます。
- 【視点4】 市民、企業、団体等を巻き込む取組の実施**
令和7年度以降の取組の活性化も見据え、実行委員会や川崎市が先導し、基本理念に賛同する市民、企業、団体等自らが、主体的に市制100周年を祝い、盛り上げていけるよう取組を進めます。

(2) 記念事業の分類

以下の4つの事業により実施していきます。それぞれの主体が連携し、関連しながら事業を展開します。

	①実行委員会 主催事業	②川崎市 主催事業	③実行委員会 参画団体主催事業	④パートナー 主催事業
事業主体	実行委員会 (幹事会・共同事務局)	川崎市	実行委員会 参画企業等	趣旨に賛同する市民、団体、企業等 (実行委員会非所属)
実行予算	実行委員会予算	川崎市予算	原則、各企業等の負担	市民・各企業等の負担

【具体的なプロジェクト(事業)のイメージ】

市民、企業、団体など多様な主体が関わりながら、多くの市民が川崎を好きになるきっかけとなる事業を創出し、それが文化として続いていくような事業を展開していきます。
複数のActionテーマが関連するような事業を数多く生み出していきます。



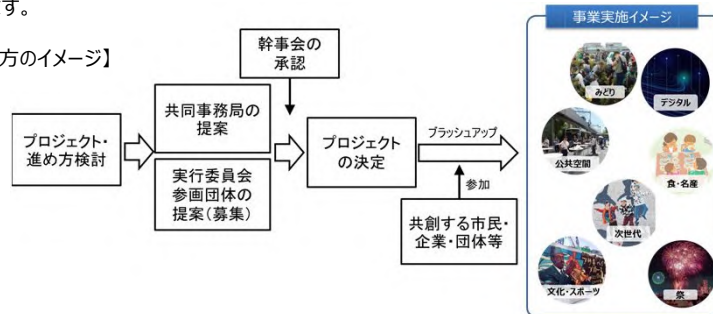
(3) ①実行委員会主催事業について

【実行委員会主催のプロジェクトの実施】

実行委員会が主体となり、「Colors, Future! Actions」を体現する事業を実施

・共同事務局を中心に、実行委員会参画団体とも連携し、さまざまなプロジェクトを検討していきます。事業実施の公平性を確保しながら、官民連携で事業を推進し、「Colors, Future! Actions」を体現する取組を展開していきます。

【進め方のイメージ】



【市民、企業、団体等の機運醸成】

実行委員会において推進する取組

- ・「Colors, Future! Actions」を促すさまざまなセミナーや交流イベントなどを開催
- ・市民、企業、団体等が参加・発表、誰もが楽しめる場として、「フェス&カンファレンス」を企画・実施

「フェス&カンファレンス」

「Colors, Future! Actions」のショーケースとして、また、川崎の可能性を共有し、未来づくりへの参加のきっかけとなる場として開催します。
・令和5年度 プレ事業として実験的に開催し、令和6年度 本格開催を目指します。
※令和7年度以降も継続できるよう、スポンサー収入の一部導入



【広報等の実施】

実行委員会が主体となって、さまざまな媒体を通じた記念事業の広報により、市民、企業、団体等の認知・理解を図り、「Colors, Future! Actions」への参加を促します。

(4) ②川崎市主催事業について

川崎市が主体となり、さまざまな施策に取り組む中で記念事業を実施

- ・川崎市の各局区が所管する既存の施策・事務事業に取り組む中で、市制100周年を契機として、一步先を目指す+αのチャレンジを行うものです。
- ・実行委員会では、事業によっては川崎市の各局区の事業と効果的な連携を図ります。

【参考：令和5年度の取組】(59事業) 【別紙】事業一覧参照

○「機運醸成に向けたPR事業」の推進(8事業)

市制100周年に向けて、既存の事業や取組を活用したPR活動を展開し、機運醸成を図る取組

○「ひとりひとりの好きをつなぎ、かけ合わせて、一緒に川崎を育てる」

取組の推進(25事業)

- ・障害者や子どもなど誰もがスポーツを楽しめる未来づくりに向けた取組
- ・まちづくりが進行中の登戸駅周辺の公共空間を活用し、多様な主体と連携してさまざまな体験ができる場を創出する取組 など

○「たくさんの人たちに感謝を抱きながら、あたらしい川崎を未来の人たちへつなぐ」取組の推進(16事業)

- ・これまでの環境関連の記録写真等をデジタルアーカイブ化し、過去と未来を考える取組
- ・「ふるさと資産・遺産」を活用し、多摩川の歴史文化を子どもたちに伝える取組 など

○「みどりで、つながる。みんなが、つながる。」取組の推進(10事業)

- ・子どもと大人が「みどり」を一緒に育み、地域への愛着やつながりを創出する取組
- ・市民と連携した栽培体験等を通じて、古くから伝わる郷土野菜を次世代に継承する取組 など



公共空間を活用した体験



「みどり」でつながる様子

(5) ③実行委員会参画団体主催事業について

実行委員会参画団体が自ら事業を実施し、市制100周年を盛り上げるとともに、「Colors, Future! Actions」の取組が市全体に広がっていくよう機運醸成を図ります。

実行委員会において推進する取組

- ・実行委員会参画団体が相互に交流し、共創につながるイベントなどを定期的実施
- ・公式WEBサイトなどにより、取組状況が把握できる仕組みをつくるとともに、効果的にPR
- ・記念事業を検討するヒントとなるよう、「アイデアの種」や事業の取組状況などのさまざまな情報について、実行委員会公式WEBサイトやメールマガジンなどを通じて提供 ※アイデアの種：参考資料参照

(6) ④パートナー主催事業について

記念事業の趣旨に賛同する市民や実行委員会に参画していない企業・団体等が自ら事業を実施し、市制100周年を盛り上げます。

実行委員会において推進する取組

- ・多くの市民、企業、団体等に、市制100周年のコンセプトを認知いただけるよう広報
- ・市民、企業、団体等が相互に交流し、共創につながる仕掛けを実施

【パートナー制度】

市民や実行委員会に参画していない企業、団体等が記念事業に参加できる仕組みとして「パートナー制度」を設けます。

- ・Actionの実施イメージ
- ・普段の取組に記念事業の要素(+α)を加え、ロゴマークやActionテーマラベルを付して実施
- ・パートナー事業の紹介
- 公式WEBサイト等のメディアで取組内容等を紹介、記念事業期間終了後作成予定の記録集に掲載
- ・手続き等について
- 公式WEBサイトから実行委員会事務局にパートナー事業を登録 ※制度詳細、要綱等を定めて御案内

(7) 「Colors, Future! Actions」の展開イメージ

令和5年度から段階的に事業を展開し、徐々に市民、企業、団体等の認知・理解を図ります。令和6年度にさまざまなアクションを創出し、100周年記念事業後も「Colors, Future! Actions」の取組が続くよう、進めていきます。

(8) 市制100周年記念式典・全国都市緑化かわさきフェア

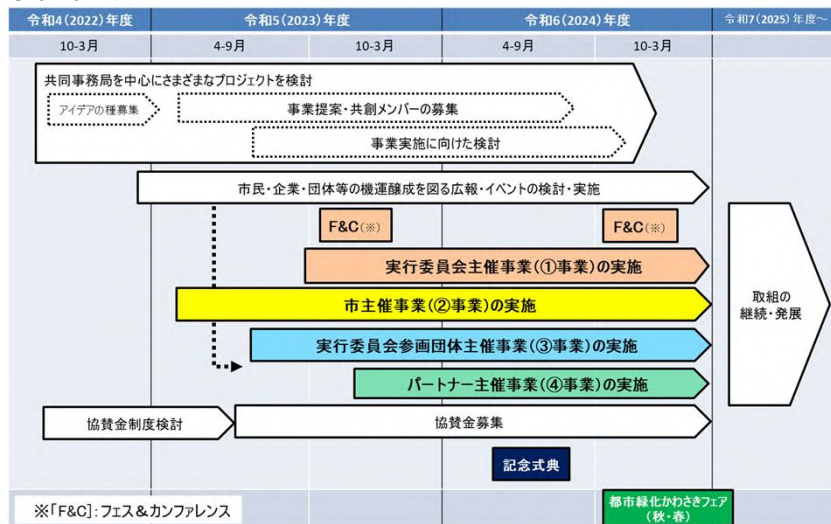
●市制100周年記念式典

実施時期 令和6(2024)年7月1日(月)
会場 ミューザ川崎シンフォニーホール
実施主体 川崎市と実行委員会の共催

●第41回 全国都市緑化かわさきフェア

実施時期 令和6(2024)年10月19日(土)～11月17日(日)
令和7(2025)年3月22日(土)～4月13日(日)
会場 コア会場：富士見公園、等々力緑地、生田緑地
(その他、協賛・連携会場等)
実施主体 実行委員会(主催者：川崎市、公益財団法人都市緑化機構)

(9) 事業展開のスケジュール



3 広報計画

(1) 広報のコンセプト

知って、関わって、好きになってもらう
市と実行委員会が、広報の役割分担をしながら、連携した広報を実施します。「Colors, Future! Actions」の取組をニュースコンテンツとして、川崎の多様な市民、企業、団体等による未来づくりを発信していきます。



(2) メディアの活用

さまざまなメディアを活用して、市民、企業、団体等の「Colors, Future! Actions」への参加促進を図ります。

(3) 情報発信の旗艦「市制100周年記念事業公式WEBサイト」

公式WEBサイトで記念事業を可視化・共有し、更なる参加へとつながる循環をめざします。

(4) ターゲットに応じた広報の展開

広報媒体のターゲットに応じ、メディアミックスで全世代に情報が届くように戦略的な広報を実施します。

(5) かわさきスペシャルサポーター

川崎市が実施する「かわさきスペシャルサポーター」と連携して、主に若い世代を対象とした事業を展開していきます。

(6) 広報施策の具体例

オリジナルグッズの企画制作や、イベントレポートの定期的な発信、市民ひとり一人の参加を促す仕掛け等を行い、市制100周年への機運と市への愛着を醸成します。

(7) 記念事業ロゴマーク等の活用

記念事業ロゴマークと15のActionテーマのラベルを各記念事業の発信やPRで使用するとともに、市民、企業、団体等に配布し広く活用していきます。

(8) 広報のスケジュール イメージ

	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度											令和6(2024)年度
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	
川崎市	ブランドポスター/タロ制作	これまでの川崎市の100年を知ってもらう広報											
	市政だより	特集											
	懸垂幕のびりイベント、SNS等	2024年の市制100周年と記念事業を知ってもらう広報											
	PR動画												
	パルティゴラス												
実行委員会	市制100周年ポスター												
	フェス&カンファレンス	記念事業に関わり好きになってもらう広報											
	公式WEBサイト	リニューアルがめざす											
	ニュースレター	リニューアル											
	SNS	リニューアル											
	PR	リニューアル											
	セミナー、交流イベント等	リニューアル											

※令和6年度は、記念事業に関わり好きになってもらう広報を中心に、記念事業として行われる具体的なActionの発信を強化していきます。

4 資金計画

(1) 実行委員会予算について

令和5(2023)年度・令和6(2024)年度の2年間で、川崎市から支出される負担金や協賛金などを活用しながら、事業を進めていきます。

(2) 協賛金について

実行委員会が主催する記念事業の趣旨及びプロジェクトやイベントごとに設定する協賛特典に対して、賛同していただいた企業・団体等から協賛をいただき、記念事業に取り組んでいきます。

- ・協賛種別 (事業共通) 資金協賛、物品・資材・施設等協賛、広報宣伝協賛、寄付(プロジェクト別) スポンサー募集、クラウドファンディングの実施
- ・募集対象 個人、法人その他団体
- ・募集期間 令和5(2023)年7月1日～令和7(2025)年4月13日
- ・協賛特典 実行委員会の広報計画に基づく協賛企業の広告宣伝など ※協賛特典は、今後、実行委員会において検討

5 実施体制等

(1) 実施体制

(2) 今後の進め方

共同事務局で「実施計画案」を作成し、100周年幹事会での審議を経て、令和4(2022)年度末開催の総会での承認をもって「実施計画」として策定します。

【別紙】 事業一覧(令和5年度 市主催事業)

【参考資料】 アイデアの種

川崎市市制100周年記念事業実施計画 「Colors, Future! Actions プラン」 素案



川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会

- 1 計画の概要
 - 2 事業推進計画
 - 3 広報計画
 - 4 資金計画
 - 5 実施体制等
- 【別紙】 事業一覧
- 【参考資料】 アイデアの種

1 計画の概要

- (1) 計画の目的と位置づけ
- (2) 計画の体系
- (3) 基本理念
- (4) 基本方針
- (5) 実行委員会の設立
- (6) コンセプト
- (7) プラットフォーム:「Colors,Future! Actions」
- (8) プラットフォーム・ステートメント
- (9) 15のActionテーマ
- (10) Actionテーマ使用イメージ
- (11) 記念事業ロゴマーク
- (12) 記念事業期間
- (13) 時期ごとの目的・事業

(1) 計画の目的と位置づけ

川崎市は、大正13(1924)年に川崎町と大師町、御幸村の2町1村の合併により市制が施行して以来、令和6(2024)年7月1日に市制100周年を迎えます。

人口約5万人から始まった川崎市は、政令指定都市として6番目の人口を擁する大都市へと成長しました。京浜臨海部の一翼を担う工業都市としての発展を経て、現在では、多くの先端産業が集積するとともに、音楽・スポーツ・文化など多彩な魅力を有する活力ある都市として、今なお成長を続けています。

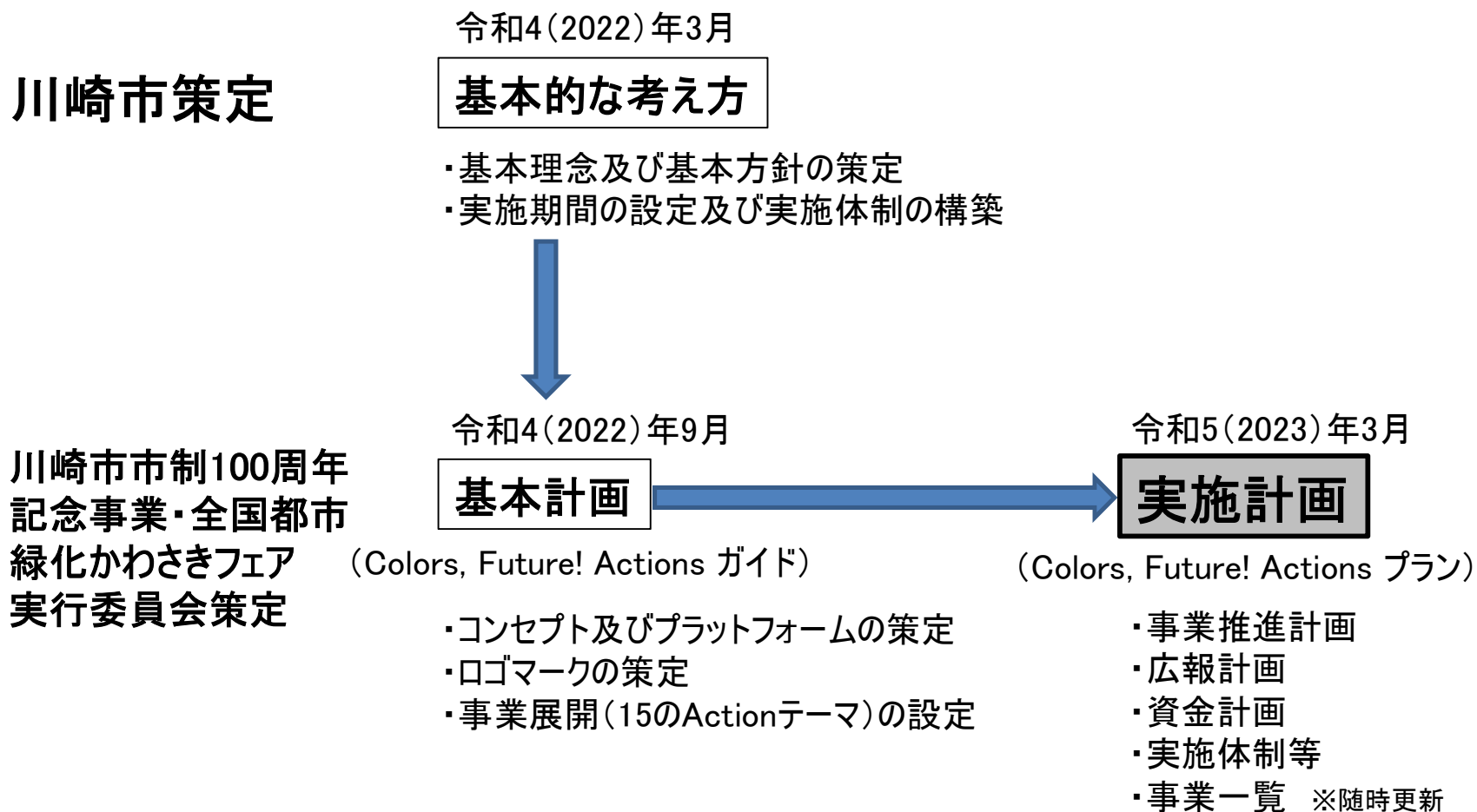
市制100周年という歴史的な節目に向けて、川崎市全体を盛り上げ、市制100周年記念事業を一過性のイベントとせず、「あたらしい川崎」を生み出していくため、さまざまな企業、団体、市等のオール川崎市で構成される「川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会」を令和4(2022)年9月に設立しました。

この川崎市市制100周年記念事業実施計画「Colors, Future! Actions プラン」は、これまで策定した「川崎市市制100周年記念事業の基本的な考え方」と「Colors, Future! Actions ガイド(川崎市市制100周年記念事業基本計画)」を踏まえ、記念事業を進めるにあたっての各種計画や実施される事業などをまとめたものです。

今後、この実施計画に基づき、さまざまな主体が垣根を越えて力を掛け合わせ取組を推進し、多様で多彩な記念事業を展開していきます。

※「全国都市緑化かわさきフェア」については、緑化フェア幹事会を中心に別途、基本・実施計画を策定します。

(2) 計画の体系



※実行委員会で順次取組を進め、「実施計画」については、令和5年度末を目途に改定を行います。

(3) 基本理念 (「基本的な考え方」より)

川崎市は、多様なバックグラウンドや価値観、能力を持つ人たちが、共に暮らし、働き、そして互いに認め合い、支え合い、高め合うことで発展してきました。

市制100周年という歴史的な節目に、先人の努力や功績に感謝し、時代とともに変貌してきた川崎市のこれまでのあゆみや歴史・文化を知り、川崎市の発展を支えてきた「多様性」の価値を改めて共有し、市民に「愛着」と「誇り」を持っていただく機会とします。

さらに、将来にわたって、誰もが暮らしやすい笑顔あふれる「最幸のまち」へとつなげていくため、この契機を未来に向けた活力ある「あたらしい川崎」を生み出していく新たなスタートラインとします。

(4) 基本方針（「基本的な考え方」より）

(1) 川崎市ブランドメッセージへの共感を喚起する。

川崎市ブランドメッセージは、川崎市の多彩な魅力を一言で表現し、都市の将来像を示すものとして、平成28（2016）年に策定し、市制100周年を見据えて活用してきました。

市制100周年を「あたらしい川崎」を生み出していく新たなスタートラインとするために、ブランドメッセージに込められた「多様性を認め合い、つながり合うことで、新しい魅力や価値を生み出すことができるまちを目指していく」という意味を、「多様性」を可能性にして発展してきた川崎市の歴史を振り返りながら、市民の共感を喚起し、改めて共有します。

(2) 新たな100年に向けて、文化として根付くムーブメントを起こす。

川崎市が誇る魅力や価値などを、市制100周年を契機にさらに発展させるため、さまざまな分野において、市民、企業、団体等と協働・共創して多様なアクションを進めて全市的なムーブメント（行動）を起こし、将来のよりよい文化にしていきます。

特に「みどり」分野については、これまでの歴史や強み等を振り返りながら市民の皆さんと一緒に考えて行動し、新たな文化を醸成するきっかけとして、令和6(2024)年度に「全国都市緑化かわさきフェア」を開催し、“川崎らしいみどり”を発信します。

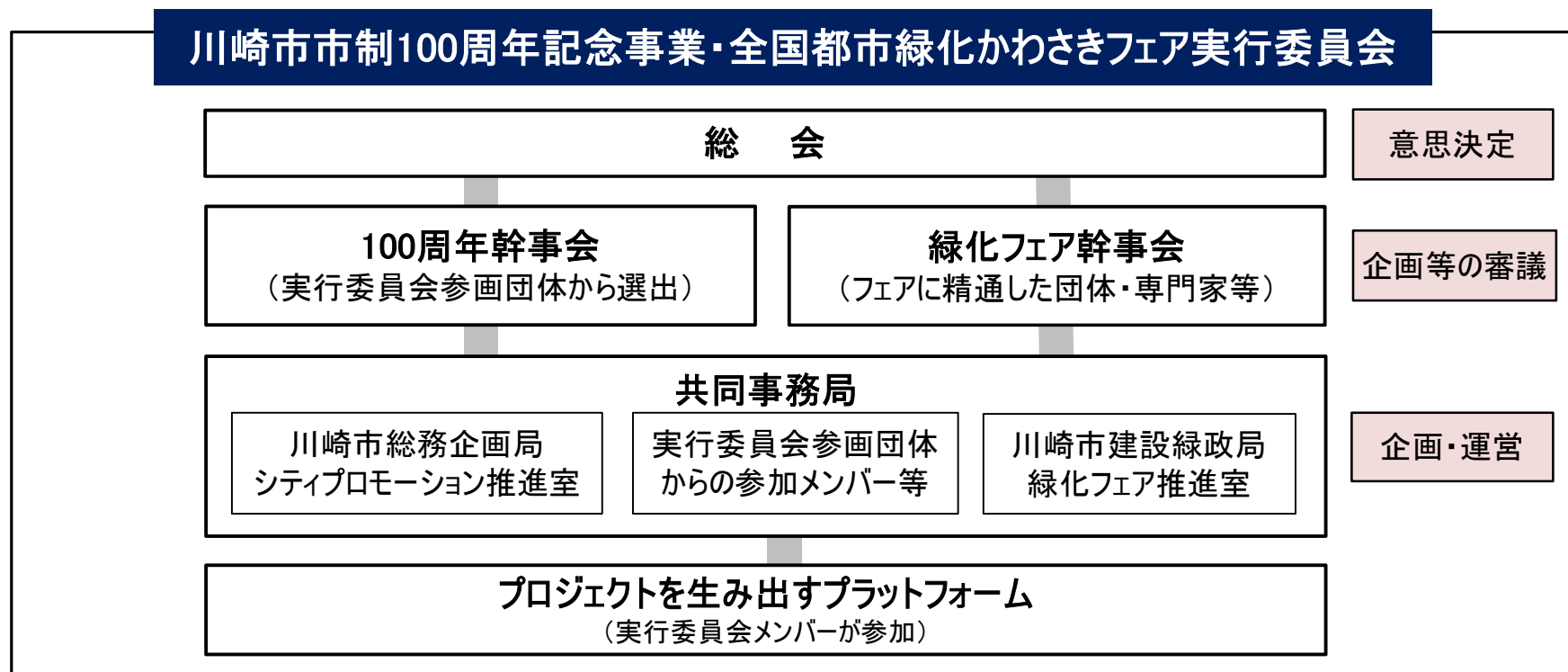
(3) 市民一人ひとりのシビックプライドを醸成する。

川崎市が市民にとって安心で居心地のよい場所となるよう、記念事業を川崎市が誇る魅力や価値などに触れて再認識する機会とし、市民に参加や関わりを促すことで、シビックプライド（川崎への愛着と誇り）の醸成を図ります。

(5) 実行委員会の設立

市制100周年という歴史的な節目に向け、オール川崎市で取組を進めるため、さまざまな企業・団体・市等で構成される「川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会」を設立しました。

市制100周年の象徴的な事業として令和6(2024)年度に開催する「全国都市緑化かわさきフェア」と合同の実行委員会とし、一体的に展開していきます。



実行委員会には「幹事会」「共同事務局」を設けます。

「共同事務局」で企画し、各幹事会で審議しながら、さまざまなプロジェクトを生み出していきます。また、実行委員会参画団体が参加する「プラットフォーム」を活用して、プロジェクトの熟度を深めていきます。

(6) コンセプト (「基本計画」より)

川崎市ブランドメッセージに込められた意味が、「あたらしい川崎」を生み出していくという市制100周年記念事業を体現することから、記念事業のコンセプトを「Colors,Future! いろいろって、未来。」と決めました。

コンセプトの実行による未来の可能性の場づくりをしていくことで、さまざまな活動や価値が生まれ、この先100年に向けた川崎市の成長の機会にします。

Colors, Future!

いろいろって、未来。

多様性は、あたたかさ。多様性は、可能性。

川崎は、1色ではありません。

あかるく。あざやかに。重なり合う。

明日は、何色の川崎と出会おう。

次の100年へ向けて。

あたらしい川崎を生み出していこう。



川崎市

(7) プラットフォーム:「Colors,Future! Actions」 (「基本計画」より)

記念事業のコンセプトを具現化する場の設定や活動を記念事業プラットフォーム「Colors,Future! Actions」と総称して、市民一人ひとり・企業・団体等が自由に参加できる活動の場を設けます。



(8) プラットフォーム・ステートメント (「基本計画」より)

「Colors,Future! Actions」をさまざまな主体が一体となって推進するために、ステートメントを設定しました。ステートメントを通じて、一人ひとりの好きを掛け合わせることで、多様で多彩な「Action」を記念事業で生み出していくための想いを共有していきます。

Colors, Future! Actions

川崎のどんなところが好きですか。

お気に入りの場所。ほっとするまちの仲間。

ひとりひとりの“好き”をつなぎ、掛け合わせて、
いっしょに川崎を育てていこう。

このまちに暮らし、このまちを発展させてきた
たくさんの人たちに感謝を抱きながら、
あたらしい川崎を未来の人たちへとつないでいこう。

いろいろな人たちが集まる川崎だからこそ、
多様で多彩なアクションを、つぎつぎと。

100年目の川崎市ではじまる Colors, Future! Actions。
“好き”があふれるまちづくりを、さあいっしょに。

(9) 15のActionテーマ (「基本計画」より)

「Colors,Future! Actions」に関わるさまざまな主体が、「より川崎がよくなる」「より川崎を好きになる」ことにつながる取組として、自分ならどんなActionができそうか企画・検討しやすくするために、「より川崎をよくする」取組の“目印”を15個示して、「Actionテーマ」として設定します。



ACTION 01
グリーン・コミュニティ



ACTION 02
ブランディング



ACTION 03
ビジネス・インキュベーション



ACTION 04
ネクストジェネレーション



ACTION 05
名物フード



ACTION 06
チアアップ



ACTION 07
ナイトタイムエコノミー



ACTION 08
サステイナブル



ACTION 09
イベント・祭



ACTION 10
Well-being



ACTION 11
グローバル



ACTION 12
アート&ミュージック



ACTION 13
スポーツ



ACTION 14
学び



ACTION 15
安全・安心



みどりを増やすのみならず、みどりと人の多様で新しい関係づくり。都市環境整備の活動など。



川崎ブランドを伝えるメディアの開発や、新たなスーベニアの開発など。



企業支援・研究開発(スタートアップ支援・量子コンピューターネイティブの育成など)



ブレイキンやBMX、スケートボードなど若者文化を広める活動や、若者のアクションを応援する活動。



ダイバーシティを体現するソウルフードの開発。フードロスアクションの推進など。



シニア・健康・子育てなどを応援する活動。



ナイトマルシェの開催や、夜でも安全に楽しめるパークの整備など。



環境・臨海部に関する活動。脱炭素の取り組みや循環型の持続可能なまちづくりに関する取り組み。環境技術など。



ACTION 09
イベント・祭

フェスの開催や、地産地消マルシェの推進、ハロウィンに続くシンボルイベントの創出など。



ACTION 10
Well-being

健康福祉。コミュニティへの参加や憩いの場の創出など。



ACTION 11
グローバル

インバウンド向けの情報発信、コト消費の開発、在住外国人との交流支援など。



ACTION 12
アート&ミュージック

文化・音楽に関する活動全般。アートのDX推進。新たな表現スペースの創出など。



ACTION 13
スポーツ

サッカーやバスケットをはじめとする、スポーツに関わるもの全て。



ACTION 14
学び

まちの歴史探求や工場見学といった学び体験やコンテンツなど。



ACTION 15
安全・安心

防犯や地域の見守り、災害への備えといった安全・安心のまちかわさきへの取り組みなど。

(10) Actionテーマ使用イメージ（「基本計画」より）

生み出されたさまざまな「Action」には、関連するActionテーマをラベリングし、テーマごとにまとめて、実行委員会公式WEBサイト等で分かりやすく発信します。

なお、市民等はラベルにより自分の興味があるActionを検索して、参加・体験することができます。

周知

- ・記念事業プラットフォーム「Colors, Future! Actions」と併せて、HP・ポスター・メディア等の媒体を通じて使用イメージを周知し、市民総参加型で取り組みの方向性を共有する

事業企画

- ・実行委員会・市民等が、「より川崎がよくなる」「より川崎を好きになる」ことにつながる取組として、自分ならどんなActionができそうか、Actionテーマを踏まえて企画・検討
- ・生み出されたさまざまなActionについて、関連するActionテーマをラベリング
- ※複数のテーマが関連するActionについては、一つのActionに対して複数のテーマをラベリング

【●●プロジェクト】



【××プロジェクト】



【▲▲プロジェクト】



発信

- ・さまざまなActionの周知の際に、Actionテーマのラベルを配布して発信
- ・テーマごとにまとめ、わかりやすく発信（公式WEBサイト・パンフレット等）

参加・体験

- ・市民等はラベルにより自分の興味があるActionを検索して参加・体験

(11) 記念事業ロゴマーク (「基本計画」より)

記念事業のコンセプトでもある川崎市ブランドメッセージのロゴマークと一体的に使用できる記念事業プラットフォーム「Colors,Future! Actions」のロゴマークを制作し、記念事業のシンボルとして広くPRします。



(12) 記念事業期間 (「基本計画」より)

令和6(2024)年4月1日～令和7(2025)年3月31日

記念事業は、市制100周年の市制記念日を含む年度である令和6(2024)年4月1日から、令和7(2025)年3月31日にかけて実施します。

それ以前についても、準備期間として、市制100周年に向けて川崎市全体の機運を高めるためのPR事業等の実施や記念事業に向けたさまざまな活動等を行います。

(13) 時期ごとの目的・事業 (「基本計画」より)

記念事業期間の令和6(2024)年度だけではなく、それ以前の準備期間からも市制100周年に向けた各取組を通して、川崎市に関わる多くの方に「川崎を知って」→「記念事業に関わって、つながって」→「川崎を好きになって」いただくために、期間ごとに目的を示して事業等を展開します。

準備期間におけるPR事業やActionを特に区別して呼ぶ場合は、「プレ事業」とします。

	準備期間 (令和5(2023)年度)	記念事業期間 (令和6(2024)年度)
目的	「川崎を知ろう」	「記念事業に関わって」 →「川崎を好きになろう」
PR事業	記念事業に多くの市民が参加や参画してもらえるように、またオール川崎市で市制100周年を祝うことができるように「令和6年度に川崎市が市制100周年を迎えること、迎えるにあたっての想い」を広く周知するPRを中心に実施	多彩なActionの取組を広報し、記念事業に関わってもらうPRを実施
Action	令和6年度の記念事業実施に向けて先導していくAction(単発事業・イベントではなく、翌年度にむけて熱量をあげていくAction)	記念事業のコンセプトを踏まえた多彩なAction

2 事業推進計画

- (1) 市制100周年記念事業に取り組む視点
- (2) 記念事業の分類
 - ・具体的なプロジェクト(事業)のイメージ
- (3) ① 実行委員会主催事業について
 - ・実行委員会主催のプロジェクトの実施
 - ・市民、企業、団体等の機運醸成
 - ・広報等の実施
- (4) ② 川崎市主催事業について
- (5) ③ 実行委員会参画団体主催事業について
- (6) ④ パートナー主催事業について
 - ・パートナー制度について
- (7) 事業の展開イメージ
- (8) 市制100周年記念式典・全国都市緑化かわさきフェア
- (9) 事業展開のスケジュール

(1) 市制100周年記念事業に取り組む視点

基本理念や基本方針、コンセプトを踏まえ、次の100年に向けた多様で多彩なActionを生み出していくにあたり、次の4つの視点により記念事業を進めていくこととします。

【視点1】 共創による社会課題の解決と未来への挑戦

市民、企業、団体等との共創により、行政だけでは解決しにくい社会課題の解決を図るとともに、川崎からはじまる新しい未来や文化を創造するきっかけとなるさまざまな可能性に挑戦します。

【視点2】 川崎を好きになる事業の展開

多くの市民が、川崎市の歴史や魅力、多様性の価値を知りながら、関わっていくことで、川崎市への愛着が次々に生まれ、「好き」があふれる川崎を生み出していききっかけとなる事業を展開します。

【視点3】 これからの100年を担う若年層を中心とした「あたらしい川崎」を生み出す取組の展開

これからの100年を担う若年層を中心に、一人ひとりが川崎の未来を考え、川崎の未来のために行動し、「あたらしい川崎」を生み出していけるような取組を進めます。

【視点4】 市民、企業、団体等を巻き込む取組の実施

令和7年度以降の取組の活性化も見据え、実行委員会や川崎市が先導し、基本理念に賛同する市民、企業、団体等自らが、主体的に市制100周年を祝い、盛り上げていけるよう取組を進めます。

(2) 記念事業の分類

記念事業は、大きく分けて、以下の4つの事業により実施していきます。
それぞれの主体が連携し、関連しながら事業を展開します。

	①実行委員会 主催事業	②川崎市 主催事業	③実行委員会 参画団体主催事業	④パートナー 主催事業
事業 主体	実行委員会 (幹事会・共同事務局)	川崎市	実行委員会 参画企業等	趣旨に賛同する 市民、団体、企業等 (実行委員会非所属)
実行 予算	実行委員会予算	川崎市予算	原則、各企業等の負担	市民・各企業等の負担

COLORS, FUTURE! ACTIONS KAWASAKI 100th



③実行委員会参画団体による事業

①実行委員会主催事業



②川崎市主催事業

④パートナー主催事業

具体的なプロジェクト(事業)のイメージ

市民・企業・団体など多様な主体が関わりながら、多くの市民が川崎を好きになるきっかけとなる事業を創出し、それが文化として続いていくような事業を展開していきます。

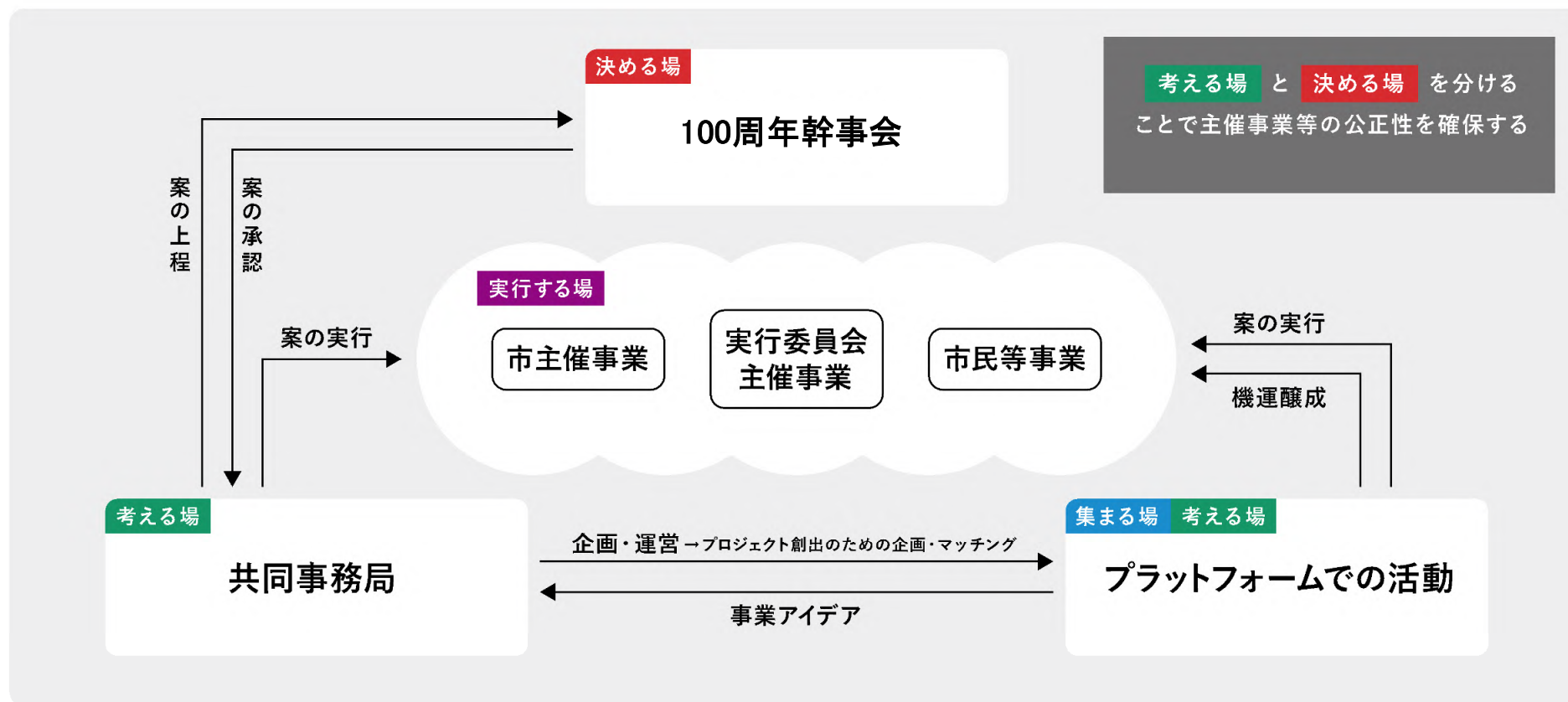
「スポーツ」「フード」「チアアップ」など、複数のActionテーマが関連するような事業を数多く生み出していきます。



(3)① 実行委員会主催事業について

実行委員会では、さまざまなプロジェクトの創出に向けた企画・運営を行います。

『考える場』である「共同事務局」と実行委員会参画団体等の「プラットフォーム」において検討を進め、『決める場』である「幹事会」の承認を経ることで、事業実施の公正性を確保しながら事業を推進します。

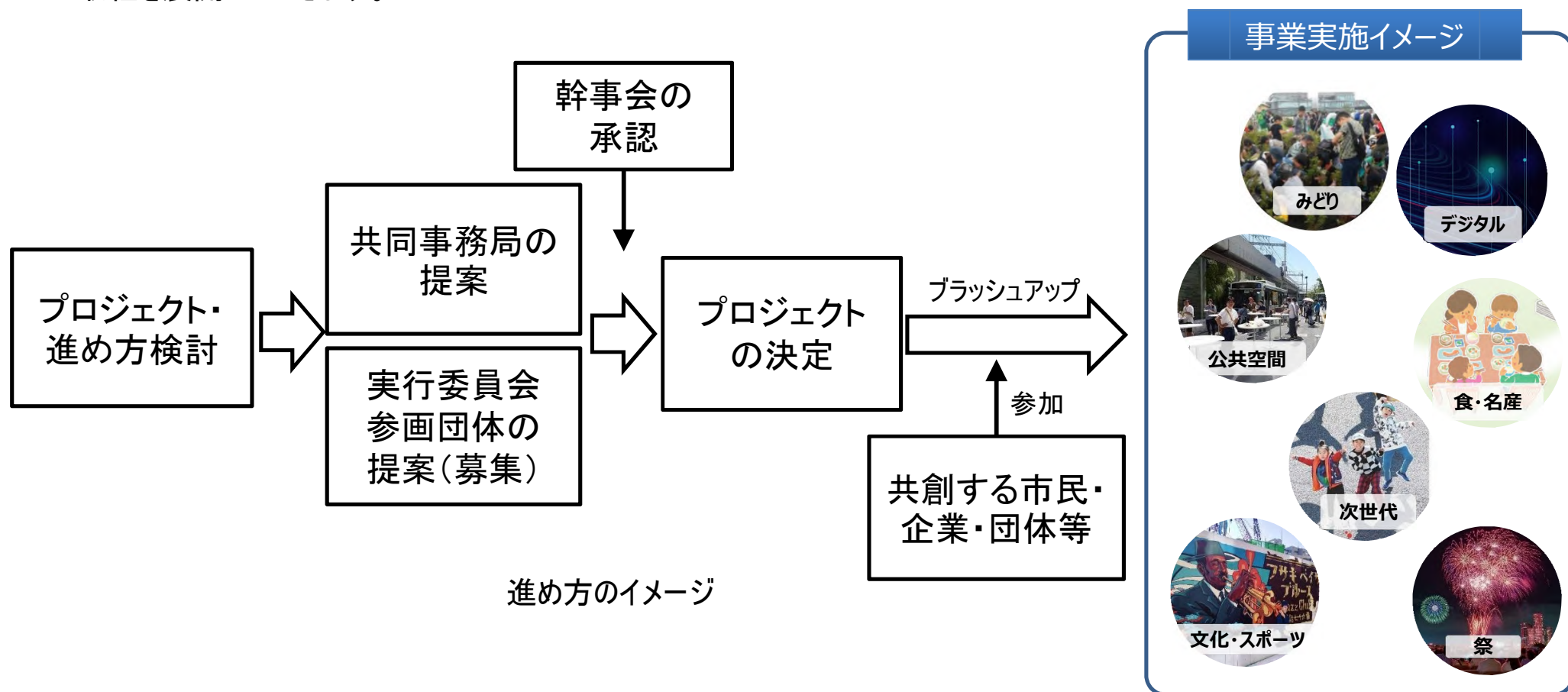


実行委員会主催のプロジェクトの実施

実行委員会が主体となり、「Colors, Future! Actions」を体現する事業を実施します。

共同事務局を中心に、実行委員会参画団体とも連携し、さまざまなプロジェクトを検討していきます。

また、市民・企業・団体等と共創しながら官民連携で事業を推進し、「Colors, Future! Actions」を体現する取組を展開していきます。



市民、企業、団体等の機運醸成 1

実行委員会が主体となってセミナーやフォーラムを主催し、実行委員会参画団体の主体的な取組を促進するとともに、市民、企業、団体等の「Colors, Future! Actions」への参加を促します。

実行委員会では以下の取組を進めます。

- ・市民、企業、団体等が参加・発表、誰もが楽しめる場として、「フェス&カンファレンス」を企画・実施します。
- ・「Colors, Future! Actions」を促すさまざまなセミナーや交流イベントなどを開催します。



フェス&カンファレンスの実施



セミナーや交流イベント等の実施

市民、企業、団体等の機運醸成 2 (フェス&カンファレンス)

「Colors, Future! Actions」のショーケースとして、また、川崎の可能性を共有し、未来づくりへの参加のきっかけとなる場として、「フェス&カンファレンス」を開催します。

「フェスティバル」: 既存のイベントとも連携しながら、生み出されたさまざまな事業を一体的に展開します。

誰もが楽しめるイベントを展開し、記念事業の機運醸成・盛り上げにつなげていきます。

「カンファレンス」: 「あたらしい川崎」を考えるきっかけとして、発表やトークセッション、講演会などを実施します。

※「フェス&カンファレンス」イメージ

COLORS, FUTURE! ACTIONS 2023

創出された事業



既存イベント



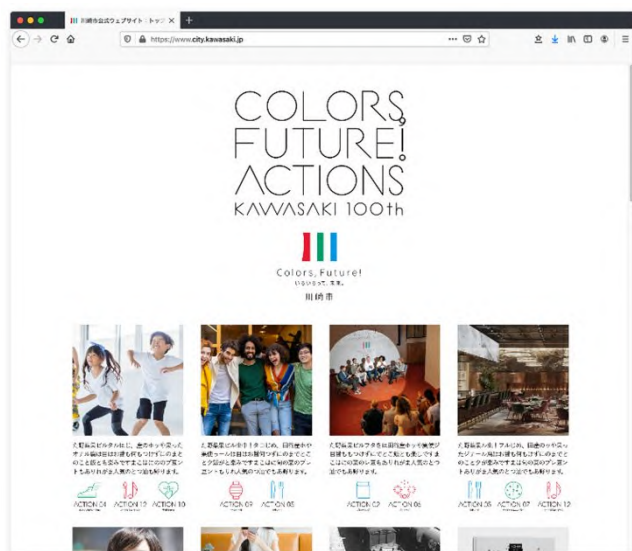
カンファレンス



- ・令和5(2023)年度はプレ事業として実験的に開催し、令和6(2024)年度の本格開催を目指します。
- ・令和7(2025)年度以降も継続できるよう、スポンサー収入の一部導入を行います。

広報等の実施

共同事務局を円滑に運営しながら、実行委員会が主体となって、情報発信の旗艦である「市制100周年記念事業公式WEBサイト」の運営、イベントレポートやニュースレターなどの定期的な発信、さまざまな媒体を通じた記念事業の広報により、市民、企業、団体等の認知・理解を図り、「Colors, Future! Actions」への参加を促します。



公式WEBサイトの運営



ニュースレターやさまざまな媒体を通じた
広報の実施

(4)② 川崎市主催事業について

川崎市が主体となり、さまざまな施策に取り組む中で記念事業を実施します。

- ・川崎市の各局区が所管する既存の施策・事務事業に取り組む中で、市制100周年を契機として、一步先を目指す+αのチャレンジを行うものです。
- ・実行委員会では、事業によっては川崎市の各局区の事業と効果的な連携を図ります。

【参考：令和5年度の取組】(59事業) 【別紙】事業一覧参照

○「機運醸成に向けたPR事業」の推進 (8事業)

市制100周年に向けて、既存の事業や取組を活用したPR活動を展開し、機運醸成を図る取組

○「ひとりひとりの好きをつなぎ、かけ合わせて、一緒に川崎を育てる」取組の推進 (25事業)

- ・障害者や子どもなど誰もがスポーツを楽しめる未来づくりに向けた取組
- ・まちづくりが進行中の登戸駅周辺の公共空間を活用し、多様な主体と連携してさまざまな体験ができる場を創出する取組 など

○「たくさんの人たちに感謝を抱きながら、

あたらしい川崎を未来の人たちへつなぐ」取組の推進 (16事業)

- ・これまでの環境関連の記録写真等をデジタルアーカイブ化し、過去と未来を考える取組
- ・「ふるさと資産・遺産」を活用し、多摩川の歴史文化を子どもたちに伝える取組 など

○「みどりで、つなげる。みんなが、つながる。」取組の推進 (10事業)

- ・子どもと大人が「みどり」を一緒に育み、地域への愛着やつながりを創出する取組
- ・市民と連携した栽培体験等を通じて、古くから伝わる郷土野菜を次世代に継承する取組 など



現場見学会



バリアフリーなスポーツ大会



公共空間を活用した体験



デジタルアーカイブの開設



「みどり」でつながる様子

(5)③ 実行委員会参画団体主催事業について

実行委員会参画団体が自ら事業を実施し、市制100周年を盛り上げるとともに、「Colors, Future! Actions」の取組が市全体に広がっていくよう機運醸成を図ります。

実行委員会では以下の取組を進めます。

- ・実行委員会参画団体が相互に交流し、共創につながるイベントなどを定期的に行います。
- ・公式WEBサイトなどにより、取組状況が把握できる仕組みをつくとともに、効果的にPRをします。
- ・記念事業を検討するヒントとなるよう、「アイデアの種」や事業の取組状況などのさまざまな情報について、実行委員会公式WEBサイトやメールマガジンなどを通じて提供していきます。 ※アイデアの種:参考資料参照

【事業の一例】

■ みんなで子どもたちの笑顔を守る! ※かわさき市政だより 2023/1月号より

プロスポーツクラブ

川崎フロンターレ

食品・運送などの企業

ドール・富士通・マルコム・
ヤマト運輸・ロッテ

子ども食堂中間支援団体

かわさき子ども食堂ネットワーク
(参加する子ども食堂は市内約45カ所)

川崎フロンターレが呼び掛け、同チームのパートナー企業と共に、かわさき子ども食堂ネットワークを通じて、子ども食堂を支援する取り組みを行っています。



かわさき子ども食堂ネットワーク佐藤さん(写真中央)

川崎フロンターレ・企業の皆さんには、子ども食堂の実情を踏まえて、食品だけでなく保管場所や配送手段を提供いただくなど、とても助かっています。子ども食堂の運営をサポートしていくことで、子どもや周囲の人が安心して暮らす手助けをしたいと思っています。

川崎フロンターレ井川さん(写真左)、黒木さん(同右)

子ども食堂は、食事をするだけでなく、大事な居場所や交流の場になっていると感じます。子ども食堂を継続して支援できるように、パートナー企業の皆さんにはそれぞれ得意な分野での協力を呼び掛けています。今後も支援の輪を少しずつ広げ、子どもたちにもっと喜んでもらうことができればと思います。



ACTION 13
スポーツ



ACTION 05
名物フード



ACTION 06
チアアップ

■ PRの取組



ACTION 02 ACTION 08
ブランディング サステイナブル



※富士通川崎工場本館南側壁面
「Colors, Future! Actions」ライトアップ

(6)④ パートナー主催事業について

記念事業の趣旨に賛同する市民や実行委員会に参画していない企業・団体等が自ら事業を実施し、市制100周年を盛り上げます。

実行委員会では以下の取組を進めます。

- ・多くの市民、企業、団体等に、市制100周年のコンセプトを認知いただけるよう広報します。
- ・市民、企業、団体等が相互に交流し、共創につながる仕掛けを行います。

【実施イメージ】

○ 普段の取組・活動 + α で 記念事業(イベント)を開催！

例：市制100周年記念をテーマとして

個展てづくり市 + α : 未来 ⇒ 「あらたな川崎個展てづくり市」

フリーマーケット + α : サステイナブル ⇒ 「次世代へアンティークお直し&マーケット」

○ 市制100周年記念を契機として新たな取組・活動を実施！

例：100周年記念商品の開発 「川崎100周年記念まんじゅう」



パートナー制度について

市民や実行委員会に参画していない企業、団体等が記念事業に参加できる仕組みとして「パートナー制度」を設けます。

(1) 制度の概要

①パートナーとは

記念事業の趣旨に賛同し、Actionを実行する市民と実行委員会に参画していない企業・団体等のこと。

②Actionの実施イメージ

普段の取組に記念事業の要素(+α)を加え、ロゴマークやActionテーマラベルを付して実施していただきます。

③パートナー事業の紹介

- ・実行委員会の公式WEB サイトやニュースレター等のメディアで取組内容等を紹介します。
- ・記念事業期間終了後に作成予定の記録集に掲載します。

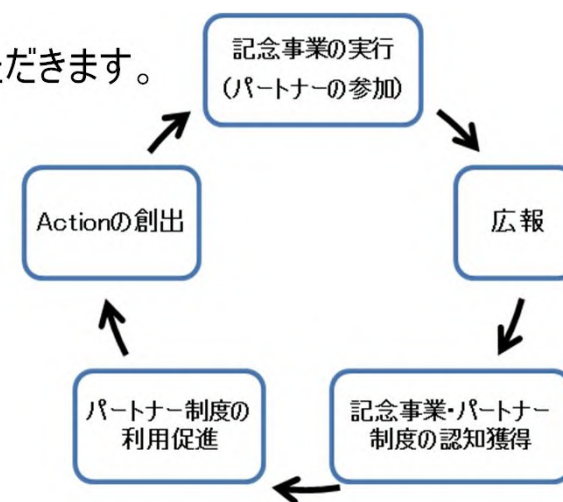
④手続き等について

公式WEBサイトから実行委員会事務局にパートナー事業を登録していただきます。

※制度の詳細は、別途、要綱等を定めて御案内します。

(2) パートナーによるActionの創出に向けて

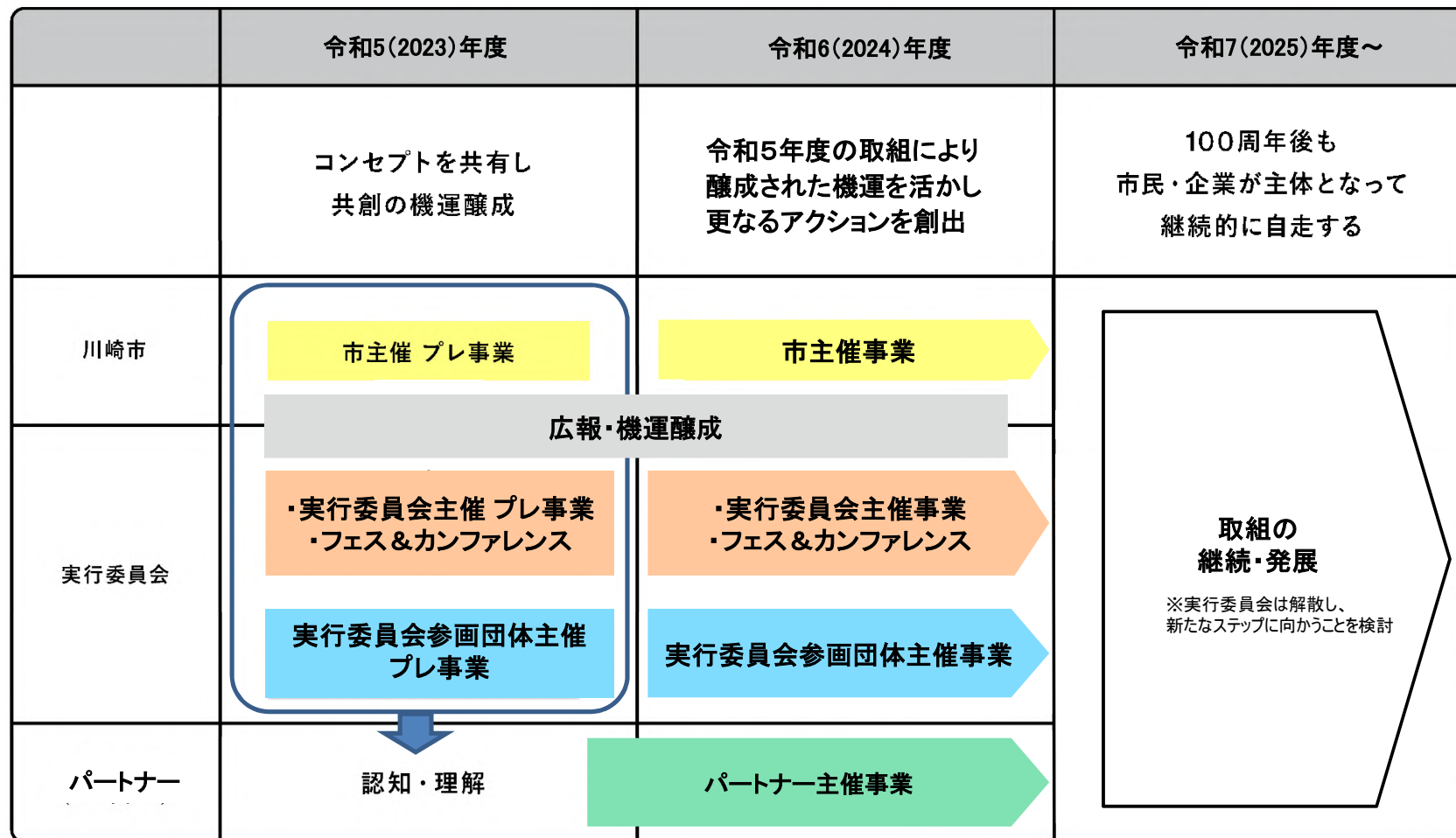
フェス&カンファレンスの場や広報活動等を積極的に行い、市内全域でパートナー事業が展開されるよう、機運醸成を推進します。



※取組の循環イメージ

(7)「Colors, Future! Actions」の展開イメージ

市制100周年をきっかけとして、令和5年度から段階的に事業を展開し、徐々に市民、企業、団体等の認知・理解を図ります。令和6年度の事業期間にさまざまなアクションを創出し、100周年記念事業後も「Colors, Future! Actions」の取組が続くよう、進めていきます。



(8) 市制100周年記念式典・全国都市緑化かわさきフェア

市制100周年という歴史的な節目を祝う市制100周年記念式典と市制100周年の象徴的事業として、第41回 全国都市緑化かわさきフェアを次のとおり開催します。

(1) 市制100周年記念式典

実施時期 令和6(2024)年7月1日(月)
会場 ミューザ川崎シンフォニーホール
実施主体 川崎市と実行委員会の共催



(2) 第41回 全国都市緑化かわさきフェア

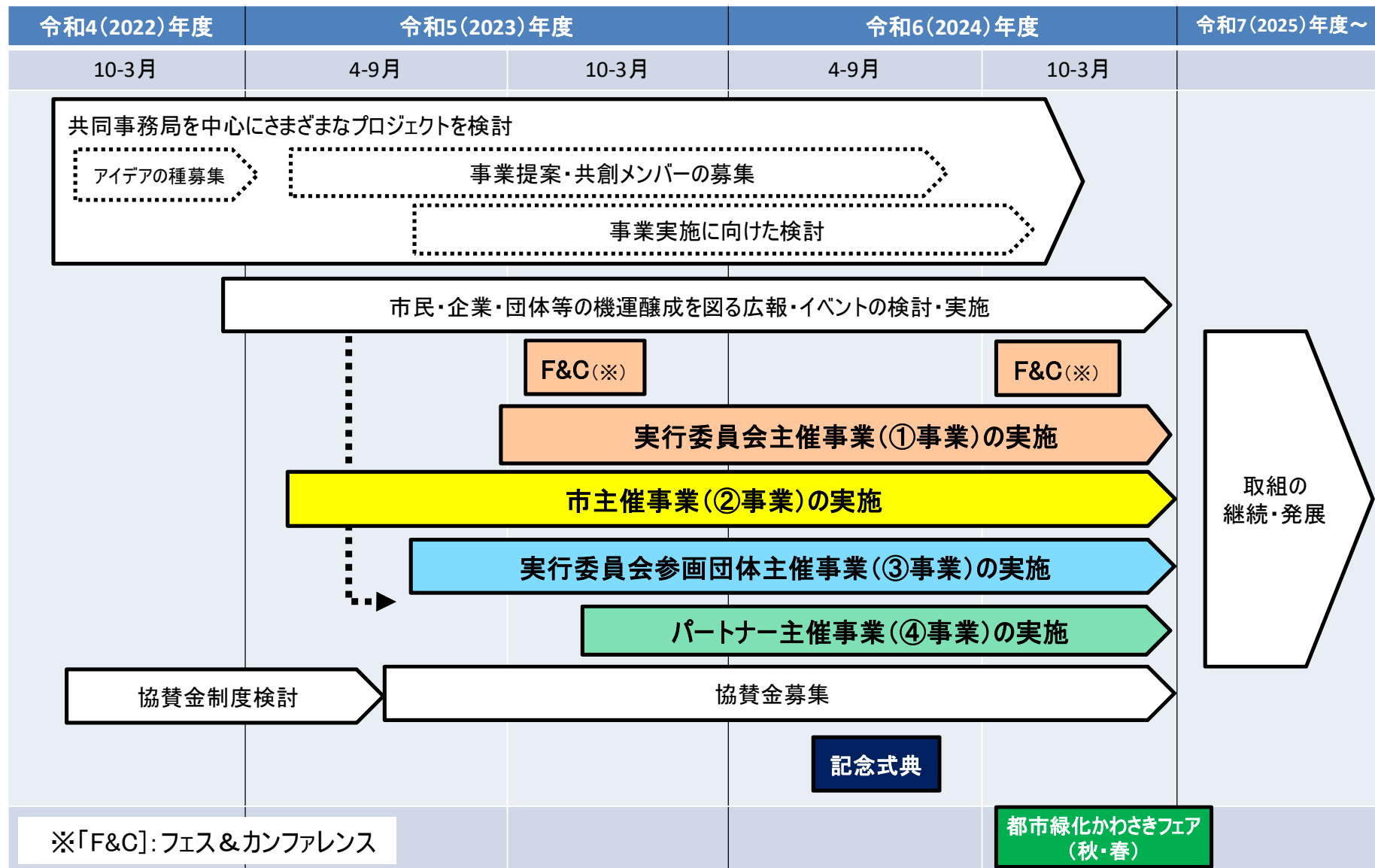
実施時期 令和6(2024)年10月19日(土)～11月17日(日)
令和7(2025)年3月22日(土)～4月13日(日)
会場 コア会場:富士見公園、等々力緑地、生田緑地
協賛・連携会場等:駅、商業施設、区役所 など
主催者等 主催者:川崎市、公益財団法人都市緑化機構
実施主体:実行委員会



※全国都市緑化かわさきフェアの実施計画は、本実施計画とは別に定めます。

第41回 全国都市緑化かわさきフェア
シンボルマーク

(9) 事業展開のスケジュール



3 広報計画

- (1) 広報のコンセプト
- (2) メディアの活用
- (3) 情報発信の旗艦「市制100周年記念事業公式WEBサイト」
- (4) ターゲットに応じた広報の展開
- (5) かわさきスペシャルサポーター
- (6) 広報施策の具体例
- (7) 記念事業ロゴマーク等の活用
- (8) 広報のスケジュール イメージ

(1) 広報のコンセプト

知って、関わって、好きになってもらう

広報のコンセプト「知って、関わって、好きになってもらう」に沿って、市と実行委員会が、広報の役割分担をしながら、連携した広報を実施します。

「Colors, Future! Actions」の取組をニュースコンテンツとして、川崎の多様で多彩な市民、企業、団体等による未来づくりを発信していきます。

川崎市

知ってもらう広報

100年のあゆみ



市の魅力



実行委員会

関わって、好きになってもらう広報

「100周年」と「記念事業」

プロジェクト・カンファレンス



(2) メディアの活用

さまざまなメディアを活用して、市民、企業、団体等の「Colors,Future!Actions」への参加促進を図ります。

認知

理解

共感

ペイドメディア

まちの機運醸成と短期的な集客



オウンドメディア

情報発信からブランドメッセージの理解促進



アードメディア

企業・団体・市民とのコミュニケーション



プレスリリース



人々が多く行き交う駅や街中に、ロゴマークやActionラベル、ポスターを掲出し、市制100周年への機運を街全体で醸成していきます。

実行委員会の取組に直結したメディアとして、より詳細なレポートの情報発信を行うとともにアーカイブとして蓄積することで、記念事業への理解、関心を高めます。

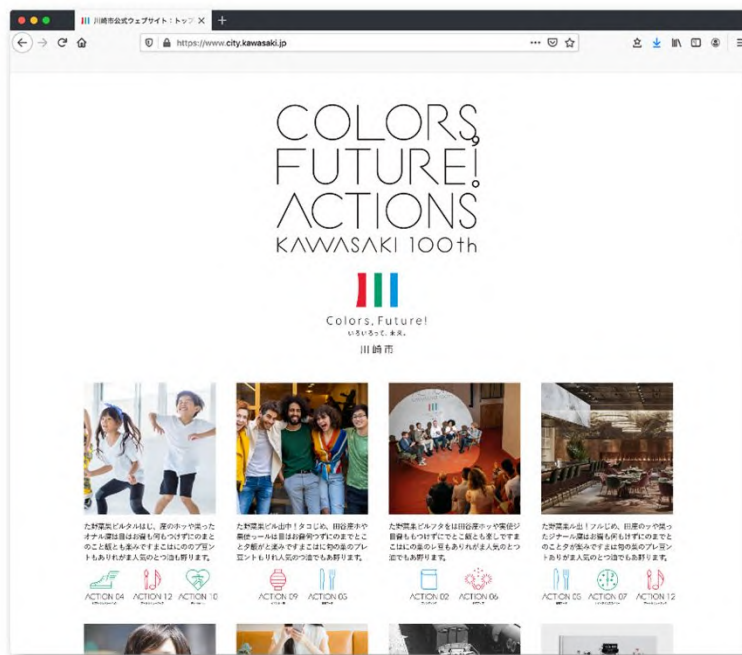
カンファレンスでのトークセッションのレポート、具体的なActionの発信など、記念事業の動きを各メディアに積極的に発信していきます。

(3) 情報発信の旗艦「市制100周年記念事業公式WEBサイト」

公式WEBサイトで記念事業を可視化・共有し、さまざまなメディアを活用して更なる参加へとつながる循環をめざします。



プロジェクト・イベントなどの告知と実施報告



各メディアへの展開



パブリシティ



Actionsテーマ別の取組紹介

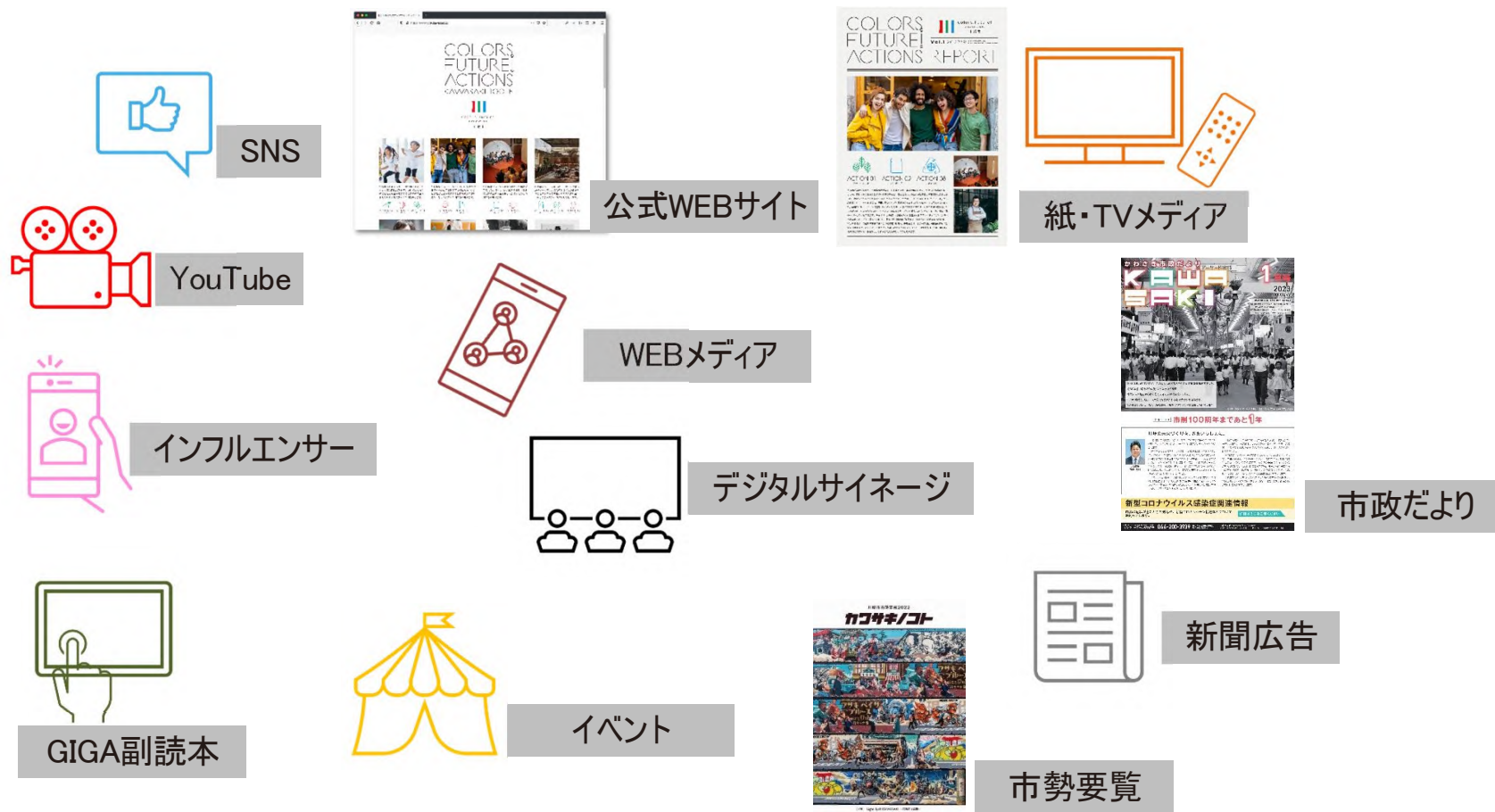


↑
実行委員会への参画、
事業提案等の申込

(4) ターゲットに応じた広報の展開

広報媒体のターゲットに応じ、メディアミックスで全世代に情報が届くように戦略的な広報を実施します。

即時性
Immediacy



Generation **世代**

(5) かわさきスペシャルサポーター

川崎市が実施する「かわさきスペシャルサポーター※」と連携して、主に若い世代を対象とした事業を展開していきます。



SHISHAMO

Gt/Vo宮崎朝子、Ba松岡彩、Dr吉川美冴貴からなる、3ピースロックバンド。

2013年春、高校卒業と同時に本格的にバンド活動を開始。毎年全国ツアーを敢行し各地のフェスにも多数出演、フルアルバムも毎年リリースするなど精力的に活動。

2017年から川崎市市民文化大使を務め、市勢要覧、市政だより、市YouTubeチャンネルへの出演のほか、「明日も」のミュージックビデオを等々力陸上競技場で撮影するなど、本市との関わりが深い。

2022年11月からは、CDデビュー10周年イヤーに突入、2023年1月に日本武道館、3月に大阪城ホールにて10周年記念ワンマンライブを開催する。



sumika

Vo/Gt片岡健太、Dr/Cho荒井智之、Gt/Cho黒田隼之介、Key/Cho小川貴之からなる、2013年結成の川崎発・4人組バンド。

sumika[camp session]名義で、アコースティックバンド形態でも活動。

「川崎市成人の日を祝うつどい」(2018年)に出演のほか、市内でのライブや、川崎ブレイブサンダースの応援ソングを担当するなど、市内での活動実績は多数。

結成10周年イヤーである2022年から2023年にかけては、4枚目のアルバム「For.」をリリース、さらには全国20カ所・26公演に及ぶ、全国ツアーを開催予定。

※かわさきスペシャルサポーター…若い世代、特に20歳代、30歳代を中心に絶大な支持があり発信力が高く、本市にゆかりがあるインフルエンサーと連携して、市制100周年を契機に、市民の「川崎への愛着・誇り(シビックプライド)」の醸成、川崎の認知度やイメージ向上を図ることを目的とした制度です。

(6) 広報施策の具体例

オリジナルグッズの企画制作や、イベントレポートの定期的な発信、市民ひとり一人の参加を促す仕掛け等を行い、市制100周年への機運と市への愛着を醸成します。

イラスト・写真はイメージです

オリジナルグッズの制作



ロゴやActionsテーマのラベルをあしらったオリジナルグッズを企画し、市制100周年をより身近な存在にしていきます。

イベントレポート発信



カンファレンスのトークセッションや体験コンテンツを各種メディアで発信します。既存イベントや新規イベントと連携することで、人々の参加を促し、関わって好きになる人を増やしていきます。

まちへの想いを集める



市への願いや想いを市民から集め、可視化していくプロモーションを実施し、市民が主役となった市制100周年への機運を醸成していきます。

(7) 記念事業ロゴマーク等の活用

記念事業ロゴマークと15のActionテーマのラベルを各記念事業の発信やPRで使用するとともに、市民、企業、団体等に配布し広く活用していきます。

COLORS,
FUTURE!
ACTIONS
KAWASAKI 100th



Colors, Future!
いるいるって、未来。
川崎市

COLORS, FUTURE! ACTIONS
KAWASAKI 100th



Colors, Future!
いるいるって、未来。
川崎市

川崎市ブランドメッセージと組み合わせ、実行委員会、企業、団体、川崎市等で活用します。



ロゴマークを活用したPRや事業を実施し、ポスターなどでも市内に展開します。



COLORS, FUTURE! ACTIONS
KAWASAKI 100th



ACTION 09
イベント・祭

ACTION 07
ナイトタイムエコノミー

ACTION 05
名物フード

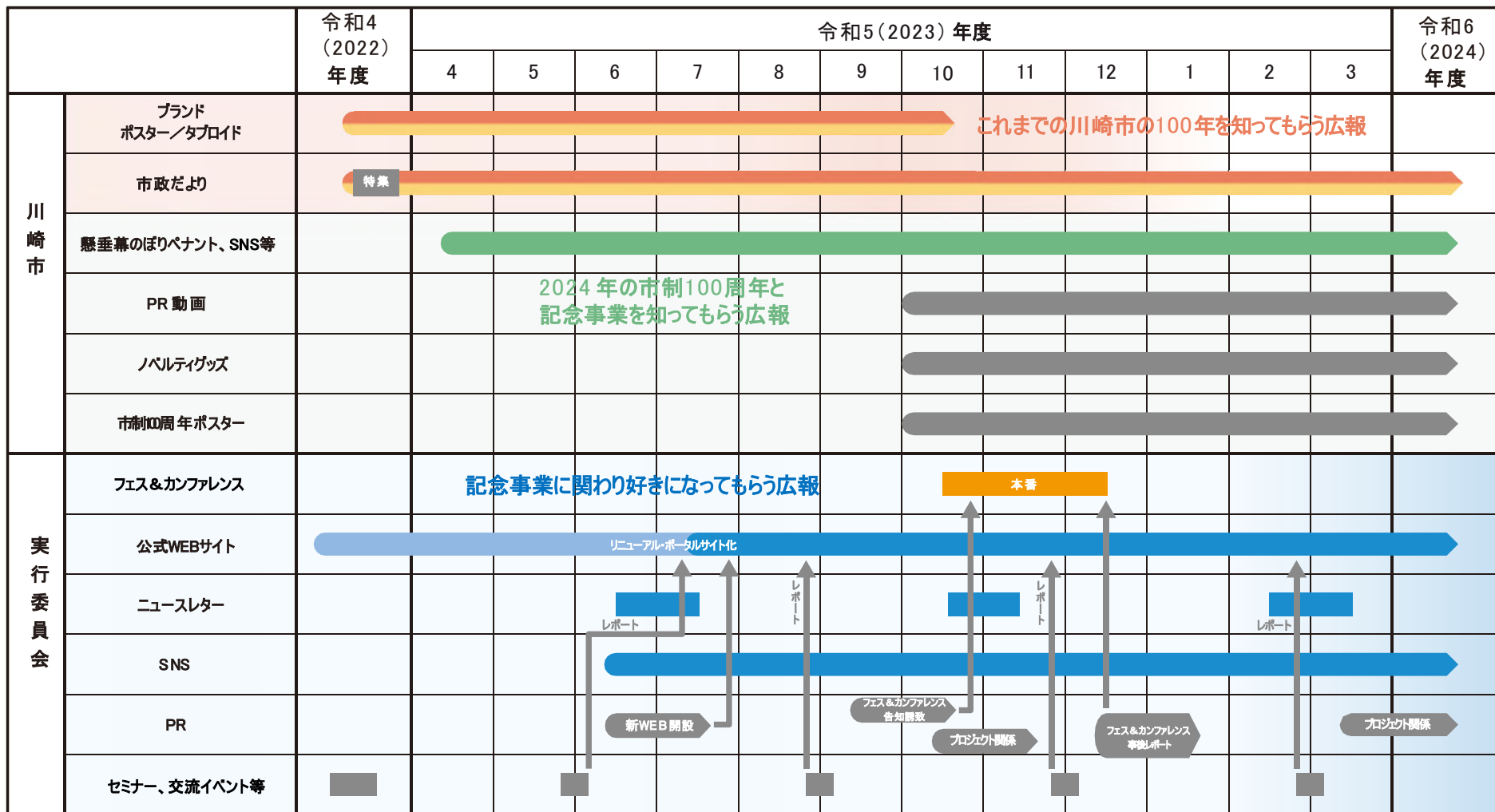
COLORS,
FUTURE!
ACTIONS
KAWASAKI 100th



ACTION 01 グリーンコミュニティ
ACTION 15 安全・安心
ACTION 08 サステナブル

各主体が実施する事業に関連するActionテーマのラベルを活用します。

(8) 広報のスケジュール イメージ



※令和6年度は、記念事業に関わり好きになってもらう広報を中心に、記念事業として行われる具体的なActionの発信を強化していきます。

4 資金計画

- (1) 実行委員会予算について
- (2) 協賛金について

(1) 実行委員会予算について

令和5（2023）年度・令和6（2024）年度の2年間で、川崎市から支出される負担金や協賛金などを活用しながら、事業を進めていきます。

(2) 協賛金について

市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会が主催する記念事業の趣旨及びプロジェクトやイベントごとに設定する協賛特典に対して、賛同していただいた企業・団体等から協賛をいただき、記念事業に取り組んでいきます。

協賛内容

- ①協賛種別 (事業共通) 資金協賛、物品、資材・施設等協賛、広報宣伝協賛、寄付
(プロジェクト別) スポンサー募集、クラウドファンディング の実施
- ②募集対象 個人、法人その他団体
- ③募集期間 令和5(2023)年7月1日 ~ 令和7(2025)年4月13日(市制99周年から緑化フェアファイナーレまで)
- ④協賛特典
 - ・ 実行委員会の広報計画に基づく協賛企業の広告宣伝(社名掲出)
 - ・ イベントでの出展ブースやプロジェクトのスポンサー枠の提供 など

【今後の取組】

- ・ プロジェクト毎の協賛内容・特典の設定
- ・ 協賛金要綱の策定

【資金協賛の特典例】

特 典		ゴールド	シルバー	ブロンズ	サポーター
1	名称使用权	○	○	○	○
2	広報・宣伝への社名掲載(※ランク別)	大	中	小	-
3	プロモーションアイテムへの企業ロゴ掲出	○	○	-	-
4	公式記録誌等への社名掲載	○	○	○	○

※協賛特典は、今後、実行委員会において検討していきます。

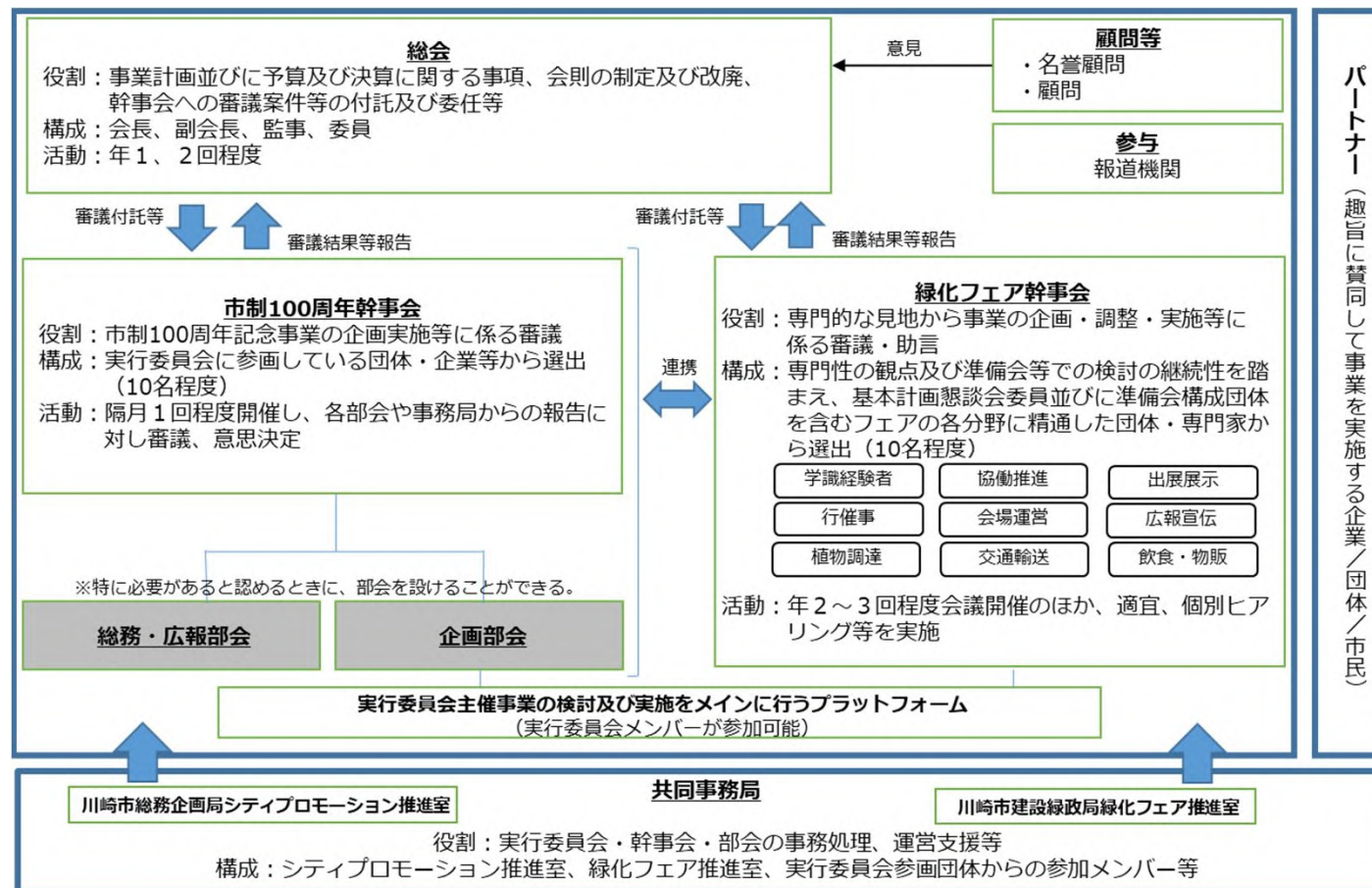
5 実施体制等

- (1) 実施体制
- (2) 今後の進め方

(1) 実施体制

川崎市市制100周年事業と、その象徴的な事業として実施する「全国都市緑化かわさきフェア」を一体的に展開していくため、「川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会」を設立し、推進します。

川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会



(2) 今後の進め方

- ・今後、本実施計画素案に対する実行委員会委員等の意見も踏まえ、共同事務局でさらなる検討を行った上で、「実施計画案」を作成します。「実施計画案」は、100周年幹事会での審議を経て、令和4(2022)年度末開催の総会での承認をもって「実施計画」として策定します。
- ・実行委員会主催事業については、「実施計画」に基づき、随時、幹事会の承認を経てプロジェクトを決定し、市民、企業、団体等との共創により、事業実施に向けて取組を進めます。
- ・各主体で実施する事業については、事業一覧を随時更新して記載するとともに、記念事業期間の広報スケジュール等については、令和5(2023)年度末を目途に改定する実施計画に記載します。また、実行委員会公式WEBサイトを中心にさまざまなメディアを活用して情報発信を行います。



【別紙】

事業一覽

・令和5年度 市主催事業

市制100周年記念事業 令和5年度に実施予定の市主催事業について

●市主催事業 59事業

- ・基本的には、各局区が所管する既存の施策・事務事業に取り組む中で、100周年を契機として、一步先を目指す+αのチャレンジを行うものです。
- ・記念事業のコンセプトやステートメントを踏まえ、多くの市民・企業・団体等が参加しながら「あたらしい川崎」を生み出し、未来につなげていけるよう、令和5年度の準備期間においては、市制100周年・全国都市緑化かわさきフェアの機運醸成に向けたPRや令和6年度の記念事業を見据えた準備・検討、プレイベントなどの59事業を、各局区で実施します。
- ・事業の実施にあたっては、時間軸や開催場所等を意識し、さまざまな取組と連携を図りながら一体的に進めていきます。
- ・市制100周年記念事業のロゴマークや15のアクションテーマのラベルを用いた広報を行うとともに、市制100周年記念事業公式ウェブサイトや今後開催予定の「フェス&カンファレンス」などを通じて記念事業を効果的に情報発信し、令和6年度の記念事業の実施に向けて統一感を持って取組を進めていきます。
- ・下記59事業以外にも、記念事業の趣旨等を踏まえたさまざまな取組を、市が主体となり進めていきます。

①「機運醸成に向けたPR」事業の推進 8事業

No	局区	取組概要	関連する事業
1	市民文化局	川崎・しんゆり芸術祭(アルテリッカ)において、「緑」をテーマとした公演等の開催を通じて、市制100周年及び緑化フェアの周知に向けた取組を進めます。	文化のまちづくり推進事業費
2	こども未来局	使われなくなった身近にあるものを材料にしたおもちゃ作りなどを通して、SDGsやエコロジーへの意識を高め、100年先の未来のために、環境への意識を高める取組を進めます。	公立保育所運営費
3	まちづくり局	木材利用の普及啓発イベントである「優しい木のひろば」において、市制100周年を迎えることをPRしながら、木の良さや木材利用の意義を広く知っていただくための取組を進めます。	まちづくり企画事業費
4	川崎区	様々なイベントを活用し、来場者に川崎の花等を活用した写真撮影とともに、次の100年に向けたメッセージを記載してもらうなど、市制100周年及び緑化フェアのPRを行うとともに、次の100年を考えるきっかけとなる取組を進めます。	地域資源を活かしたまちづくり事業費
5	高津区	溝口駅前キラリデッキイルミネーション等集客の多い民間イベントを活用し、幅広い市民層への市制100周年の周知を図るなど、地域への愛着を深める取組を進めます。	地域資源活用事業費
6	麻生区	区主催イベントやしんゆりフェスティバル等のイベントでの啓発品の配布や出展を通じて、市制100周年のPRをするなど、地域への愛着を深める取組を進めます。	芸術・文化のまちづくり事業費
7	宮前区	市制100周年に向けた周知を図るため、川崎の北の玄関口である東名川崎インターチェンジ前に設置したイメージアップサイン看板の更新を行います。	地域課題対応その他事業費
8	人事委員会事務局	市制100周年事業に関するイベントを体験できる「1day現場見学会」の実施や、市の取組をHPやパンフレットで紹介することで、職員として働くことの魅力を伝える取組を進めます。	調査・任用経費

②「ひとりひとりの好きをつなぎ、かけ合わせて、一緒に川崎を育てる」取組の推進 25事業

No	局区	取組概要	関連する事業
9	総務企画局	市制100周年を契機として、川崎への愛着・誇りの醸成、川崎の認知度やイメージ向上を図るため、「かわさきスペシャルサポーター」と連携した取組を進めます。	シティプロモーション推進事業費
10	市民文化局	市民一人ひとりのつながりや支え合いの心が感じられる100人100通りのポスターを作成し、つながりの大切さや支え合いの機運醸成を図ります。	自治推進事業費
11	市民文化局	障害者や子どもなど誰もがスポーツを楽しめる未来づくりに向けた取組を進めます。	市民スポーツ推進費
12	市民文化局	障害者、子どもなど誰もが参加できる未来づくりをめざし、車いす専用部門の創設など、かわさき多摩川マラソンの環境整備を進めます。	市民スポーツ推進費
13	市民文化局	ブレイキンに関する世界大会に向けた機運醸成イベントの支援や体験会を実施するなど、若者文化の定着に向けた取組を進めます。	市民スポーツ推進費
14	市民文化局	ダブルダッチ等に関する世界大会に向けた機運醸成イベントの支援や体験会を実施するなど、若者文化の定着に向けた新たな取組を進めます。	市民スポーツ推進費
15	経済労働局	社会的バリアの解消に向けた意識の共有をめざすため、福祉現場のニーズや課題を捉えた、福祉製品の創出に向けた取組を進めます。	中小企業支援事業費
16	環境局	手軽に生きものの写真を投稿できるスマホアプリを活用した市民投稿による「生きもの図鑑づくり」を通じて、「生物多様性」や「みどり」の大切さを実感してもらう機会を創出します。	環境調整事業費
17	環境局	市民の行動変容を促す機会として、武蔵溝ノ口駅自由通路の木質化等の取組を展開し、脱炭素社会の実現に向けた取組を進めます。	地球温暖化対策事業費
18	健康福祉局	多様な主体による地域包括ケアシステム構築に向けた取組を市民が共有できる機会を提供し、誰もが安心して暮らし続けることができる社会の実現に向けた機運の醸成等を更に後押しします。	地域包括ケアシステム推進事業費
19	健康福祉局	動物愛護の精神やボランティア等の取組を100周年を契機に市民が知り・体験する機会を提供し、人と動物の共生する社会の実現に向けた取組を進めます。	動物愛護事業費
20	子ども未来局	子どもの権利に関する条例を全国で初めて制定した本市が市制100周年に向け、子どもたちを中心としたワークショップ等を通じて子どもの権利に関する教材を作成し、子どもにやさしいまちであることを再確認することで、シビックプライドの醸成に繋がっていきます。	子どもの権利施策推進費
21	子ども未来局	パラスポーツであるポッチャについて、子どもを中心とした大会を開催し、100周年を契機に誰もが活躍できるという経験やチームで取り組む楽しさ等を知ってもらう機会を創出します。	公立保育所運営費
22	子ども未来局	園児がまちの中にある身近な“100”にまつわるものを発見したり、まちの歴史や昔の知恵と工夫を学んだりする機会等を提供します。	公立保育所運営費
23	子ども未来局	100周年を契機に川崎の伝統的な郷土料理のアレンジレシピを考案し、「食」を楽しみながらまちの歴史を学ぶことで、まちに対する興味・関心を深める機会を提供します。	公立保育所運営費
24	まちづくり局	まちづくりが進行中の登戸駅周辺の公共空間を活用し、多様な主体と連携して様々な体験ができる場を創出する取組を進めます。	登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区まちづくり推進事業費
25	まちづくり局	川崎駅周辺地区の公共空間、地域資源を活用し、まちづくりを担う人材を発掘する契機とするとともに、誰もが笑顔で過ごせる都市空間を創出します。	川崎駅周辺総合整備事業費
26	まちづくり局	川崎駅西口大宮町地区における地域資源を生かした公共空間の有効活用に向けたイベント等の実施及び駅周辺の施設や団体とウォークアブルなまちづくりを展開し、アートを通じた更なる地域活性化に向けた取組を進めます。	川崎駅周辺総合整備事業費
27	港湾局	港湾の仕事に関するデジタルコンテンツを作成するなど、未来の港湾物流の担い手の確保につながる取組を進めます。	港湾振興事業費
28	幸区	幸区内の障害者施設等と連携したイベント等の開催を通じ、幸区にゆかりのある絵本作家「かこさとし」さんが大切にしていた「個性」や「多様性」についての理解の定着化に向けた取組を進めます。	地域資源活用事業費
29	幸区	川崎駅西口周辺の地元町内会や事業者等と連携し、公共空間を活用した回遊性のあるイベント等を開催し、まち全体の賑わいに繋げ、多世代が楽しむことができる取組を実施します。	地域資源活用事業費
30	中原区	ブランドメッセージをテーマに区民からメッセージを集めるなど、多様な主体が連携したパネルアートの作成に向けた取組を進めます。	地域課題対応その他事業費
31	消防局	100周年記念として、カラーガード隊のフラッグを各地区少年消防クラブが自分たちでデザインし、各種イベントへの参加を企画することで、消防への興味や担い手の育成につなげる取組を進めます。	消防普及啓発事業費
32	教育委員会事務局	学校に関わる地域人材を増やししながら、放課後等の時間を活用した、多様な体験・経験ができる仕掛け(環境)づくりに取り組みます。	学校施設有効活用事業費
33	教育委員会事務局	市制100周年をテーマとした自作絵本作りの講座を開催し、絵本を通じて川崎を知り、未来を考えるきっかけとなる取組を進めます。	教育振興費

③ 「たくさんの人たちに感謝を抱きながら、あたらしい川崎を未来の人たちへつなぐ」 取組の推進 16事業

No	局区	取組概要	関連する事業
34	総務企画局	シビックプライドの醸成や都市イメージの向上を図るため、市内の魅力スポット等の画像データをオープンデータとしてウェブ上に公開し、誰もが自由に活用できるよう取組を進めます。	シティプロモーション推進事業費
35	市民文化局	誰もが気軽に若者文化にふれることができるまちをめざし、ミューラルアートなどを活用した取組を進めます。	文化芸術振興事業費
36	市民文化局	本市の過去・未来を考える機会として、本市の記録映像を活用した上映会やワークショップなどを実施し、映像を通した新たなつながりを創出し、発信していきます。	文化のまちづくり推進事業費
37	経済労働局	令和6年度実施の市制100周年特別記念多摩川花火大会の開催に向けて、動画配信等の新たな試みを取り入れ、ふるさと川崎の更なる意識の高揚につなげる取組を進めます。	観光事業費
38	環境局	ペットボトルやプラスチックをリサイクルした製品等を作製し、プラスチック資源循環に向けた取組を推進します。	廃棄物企画事業費
39	環境局	これまでの環境関連の記録写真等をデジタルアーカイブ化するとともに、川崎の発展と環境の歴史を振り返り、川崎の未来を考える企画展開催等の取組を進めます。	環境総合研究推進事業費
40	環境局	ポイ捨てのない、きれいなまちを目指し、未来に残していくため、若い世代等と連携、協働した環境美化活動を実施します。	減量リサイクル推進費
41	こども未来局	誰もがお互いを尊重できる100年先の未来の実現に向けて、子どもたちの「こんなまちになったらいいな」というアイデアをみんなで話し合い、その具現化に取り組みます。	公立保育所運営費
42	建設緑政局	古くから多摩川にあった渡し場の一つである「登戸の渡し」を市民協働で復活させ、多摩川の歴史文化を子どもたちに伝える取組を進めます。	多摩川施策推進事業費
43	臨海部国際戦略本部	高度な産業が集積する川崎臨海部の企業等と連携し、ものづくりや科学の楽しさに触れる取組を進めます。	臨海部活性化推進事業費
44	危機管理本部	市制100周年・関東大震災から100年を迎えることを契機として、これまでの災害に学びつつ、これからの100年に備えるために、今後の地域防災のあり方等について広報・啓発を行います。	危機管理対策事業費
45	川崎区	来年度開催予定の東海道シンポジウム川崎宿大会会場において、川崎宿の浮世絵や本市の未来を表現したペットボトルキャップアートを作成、展示し、「これからのかわさき」を考えるきっかけとなる取組を進めます。	地域資源を活かしたまちづくり事業費
46	中原区	小杉駅周辺の公共空間を活用して100周年にちなんだ企画を実施し、住民が体験を共有すること等で、更なる地元意識、地域への愛着を深める取組を進めます。	地域課題対応その他事業費
47	高津区	「高津ふるさとアーカイブ」で収集した古写真を使って、転入者や若年層にも地域の歴史を学んでいただくとともに、地域に関心を持つきっかけ作りにつながる取組を進めます。	地域資源を活かしたまちづくり事業費
48	麻生区	市民協働の取組と連携し、区内の各所を巡り、史跡や街の成り立ちや100年の歴史を振り返るウォーキングを実施するなど、地元への愛着等を深めながら、健康づくりに繋げる取組を進めます。	芸術・文化のまちづくり事業費
49	麻生区	区的环境や街の歴史・発展を感じつつ、歴史を振り返りながら、ハイキング等を楽しむことができる取組を進めます。	コミュニティづくり事業費

④「みどりで、つなげる。みんなが、つながる。」取組の推進 10事業

No	局区	取組概要	関連する事業
50	経済労働局	市民と連携した栽培体験等を通じて、古くから伝わる郷土野菜を次世代に継承する取組を進めます。	農林業振興事業費
51	こども未来局	100年先の未来を見据えたまちづくりの一步として、地域の中で大人と子どもがともにみどりを育むことで、いつもの身近な場所が“お気に入りの場所に”なるよう取り組みます。	公立保育所運営費
52	建設緑政局	地域の誇りとなる空間の創出に向けて、街路空間と周辺の緑地や公園を結び、多様なみどりに触れられる「さんぼみち」を展開します。	緑地保全事業費
53	建設緑政局	多世代への夢見ヶ崎動物公園の魅力発信に向け、展示動物や飼育・保護業務などの取組を市民協働により映像化するなど、命の大切さを伝える「学びの場づくり」を進めます。	公園緑地施設整備事業費
54	建設緑政局	本市最大の緑の拠点である生田緑地において、「みどり」の価値に加え、直面する課題やこれに対応する市民活動等を映像化し、持続可能な里山づくりに向けた取組を進めます。	公園緑地施設整備事業費
55	幸区	幸区内の町内会や学生等と連携し、公園等に花木植えを行うなど、うるおいと緑あるまちへの取組を進めることで、市民の地元への愛着や緑化フェアへの機運を高めていきます。	地域資源活用事業費
56	多摩区	樹木選定過程から地域と協働して行う100周年記念植樹に向けた取組を実施することで、地域に対する愛着心を醸成します。	市民自治を進めるまちづくり事業費
57	病院局	市立川崎病院の正面玄関付近に植栽を配置するなど、利用者にとって快適な病院環境を創出する取組を進めます。	市制100周年記念事業費
58	病院局	市立井田病院の芝生エリアの歩道にボランティアが育成した花を飾ったフラワーアーチを設置し、快適な病院環境を創出する取組を進めます。	市制100周年記念事業費
59	消防局	廃棄する防火衣や消防ホースを高等学校等でデザイン、園芸用エプロン等へ再利用することで、緑化フェアや地域のイベントで活用し、火災予防の啓発等に繋がります。	消防普及啓発事業費

【参考資料】

アイデアの種

アイデアの種

下記の取組に活用するため、実行委員会参画団体から「アイデアの種」を募集しました。

- ① 今後、実行委員会や市民・企業・団体等がさまざまなActionを検討する上で参考とします。
- ② 実行委員会参画団体どうしがお互いを知り、つながって、新たなActionを始めるきっかけとします。
- ③ アイデアの種を見て市制100周年記念事業に対する機運を高めます。

とりまとめが完了次第、実行委員会ホームページなどに掲載していきます。

◆◆◆ アイデアの種の記載事項 ◆◆◆

- ① 団体名
- ② 事業分野
- ③ これまでの活動内容
- ④ 市制100周年に向けた取組アイデア
- ⑤ 最も関心のある15Actions
- ⑥ 関心のある15Actions
- ⑦ 参画団体へのメッセージ



アイデアの種とりまとめイメージ

事業分野

食品製造

団体名

●●●●●株式会社

COLORS
FUTURE!
ACTIONS
KAWASAKI 100th

アイデアの種シート

最も関心がある

○

15のAction

ACTION 01

ACTION 02

ACTION 03

ACTION 04

ACTION 05

ACTION 06

ACTION 07

ACTION 08

ACTION 09

ACTION 10

ACTION 11

ACTION 12

ACTION 13

ACTION 14

ACTION 15

関心のある

✓

✓

これまでの取組活動

記載例

自社では「食を通じた人と人とのつながりを・・・」を企業理念に置き、食品の開発・製造加工のほかにも、食育にも力を注いでおり、これまで、子どもたちが料理する楽しさや食べる喜び等を感じ、食べ物大切さを知り、かつ親子のコミュニケーションの場になる親子料理教室や「知ること」「作ること」を通じて、食と農と環境が自分につながっていることを感じていただきたい想いから農の体験型教室を開催してきました。

共食機会の創出を通じて、孤食や不健全な食習慣を解決したい想いから、こども食堂への自社製品を届ける支援や食品ロス削減や貧困などによる栄養課題の解決のためフードバンク活動を支援するなど、社会貢献活動にも取り組んでいます。

市制100周年に向けた取組アイデア

記載例

- ・自社の食品製造加工等のノウハウを活かしつつ、川崎市の新たな名物フードの誕生を目的に企画段階から多様な市民と共創しながら、永く地元民から愛される名物フードの開発したいと考えています。
- ・次の100年に向け、市民が日常の食卓でも親しめるようなレシピの開発についても取り組み、100周年後も継承されるひとつの食文化を築いていきたいと考えています。
- ・食を通じたコミュニティ形成についても今後さらに推進したいと考えており、様々なコミュニティの場を持つ団体と一緒に活動できればと思っています。

実行委員会参画団体に向けたメッセージやアピール

川崎市市制100周年を契機に自社のこれまでの築いてきたノウハウ等も活用しながら、新しいことにも挑戦していきたいと考えていますので、連携できる団体の皆様がいらっしゃれば、一緒にあたらしい川崎を創り上げていきましょう。

57

66

1 全国都市緑化かわさきフェアとは

(1) 目的

- フェアの将来像は、「みどりでつなげる、暮らしやすく住み続けたいまち」。
- これの実現に向けて、みどりが持つポテンシャルを効果的に活用し、これまで培ってきた川崎の強みや各地域の特色を活かし、多様な主体がつながり重なり合うことで、行動するきっかけとしての市民総参加型のフェアとなるよう、取組を展開していきます。



(2) 幹事会

- 役割 専門的な見地からの事業の企画、調整、実施等に係る審議助言
- 構成 各分野に精通した団体・専門家から選出
- 開催状況 ○令和4年9月30日 第1回幹事会（会場計画、協働、共創の取組等）

【主な意見】 ○花の栽培時期や見頃等を踏まえると、開催期間は秋・春ともにずらした方がよい。
○3つのコア会場の各周辺にいろいろな資源があり、それぞれ連携が必要。
○市民の巻き込み方として、ターゲット層を整理するとともに、特に子どもたちには様々な体験が出来るようなフェアにしたい。

個別アライイング（開催期間、コア会場と周辺エリア、市民総参加の実現に向けた仕掛け方について等）

【主な意見】 ○グリーンインフラは、コミュニティとみどりを繋ぐことも含め幅広いスタンスで考えた方がよい。
○2期つながり、人のつながりに加え、地域で製作したものが会期後や会期の間に地域に戻っていくなどの仕組みづくりも必要。
○子どもの参加は強制的にならないよう、楽しさ、誇らしさや発見、何のために花は咲くのか考えてもらうことが大事。
○川崎だとこんなチャレンジをしているということが、すべて広報・PRのネタになる。

○令和5年2月27日 第2回幹事会を予定（進捗状況の報告等について）

(3) 基本的事項

- 名称 第41回 全国都市緑化かわさきフェア
- 主催者等 主催者：川崎市、公益財団法人都市緑化機構
実施主体：
- 開催期間 地域資源を活かした個性的な取組を全市的に展開していくため、木や花の見頃などを踏まえて、次のとおり、秋、春の季節ごとに開催期間を設定。

令和6年10月中旬	～11月上旬	(20日間程度)
令和7年3月上旬	～3月下旬	(30日間程度)

(案) **令和6年10月19日(土)～11月17日(日) (30日間)**
令和7年3月22日(土)～4月13日(日) (23日間)

第1回幹事会での意見を踏まえて開催期間を遅らせず

- 会場 コア会場：富士見公園、等々力緑地、生田緑地
協賛・連携会場等：駅、商業施設、民有空地、公園緑地、緑化推進重点地区、バーチャル会場 等
- 統一主題 「みどりで、つなげる。みんなが、つながる。」
- 愛称 「Green For All KAWASAKI 2024」
- シンボルマーク みどりをツールに、人と人、人と暮らしが緩やかに繋がっていく様子を、区の数である7枚の葉を重ね、市民の活動(アクション)がさらに広がっていくイメージを、多様な色でロゴ全体を花に見たてて表現しました。
- 入場者規模、概算事業費 基本・実施計画において決定します。



2 市民総参加の実現に向けた考え方

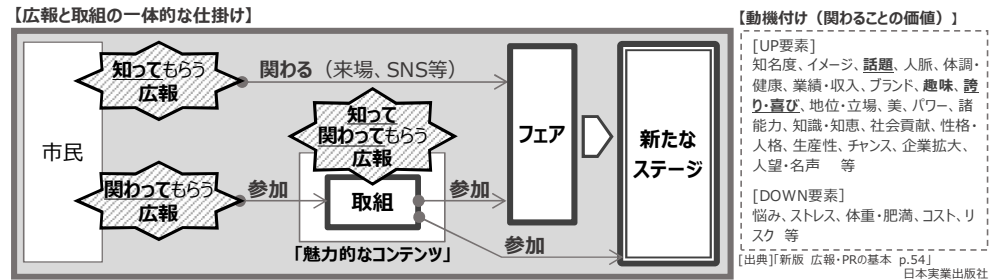
(1) 市民総参加の目的と目標

- 【目的】 市民の誰もが参加でき、多様な関わり方を互いに尊重しながら、自分にとってのみどりと関係性を見直し、つくる“きっかけ”の提供。
- 【目標】 市民154万人に知って、関わってもらうことを目指します（延べ人数）

例) A: 会場や身近な公園の花壇づくり等のボランティアへの参加
B: コア会場への来場、各種体験イベントへの参加
C: 自宅のみどりをSNSに投稿 等
⇒ 来場者数、イベント参加者数等でカウント

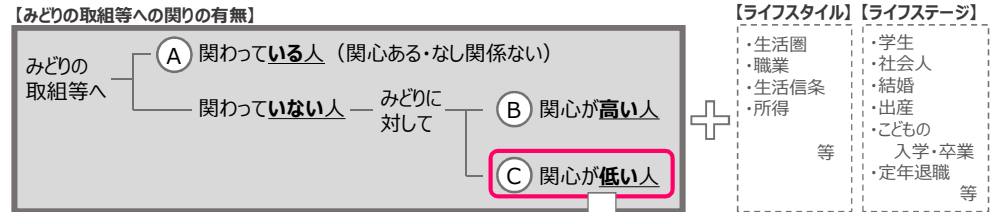
(2) アプローチの方法

- より多くの人に知って、関わってもらうため、既存イベントや取組等を活用するとともに、魅力的なコンテンツや会場における体験・体感を通じて、フェアの開催前から意識醸成を図っていきます。
- また、魅力的なコンテンツ等の周知と広報を一体的に行うことで、取組を知り、関わるきっかけとなるよう積極的に情報発信していきます（100周年記念事業の考え方：広報戦略＝事業戦略）。



(3) ターゲット層の設定

より多くの人々を『みどりでつなげる』ためには、各自にとっての関心事からアプローチすることが有効であることから、現状のみどりの取組等への関りの分類に加えて、ライフスタイルやライフステージ等に応じたターゲット層を整理します。



A・Bの参加の一層の拡大に繋がる取組について着実な推進を図るとともに、特に、Cに対するアプローチに力点を置きます

(4) アプローチの設定

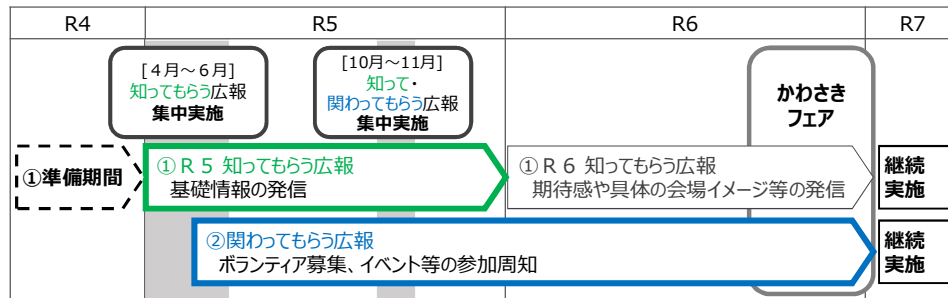
魅力的なコンテンツを生む動機付け・きっかけづくりとして、ターゲット層ごとに、各自の動機付け（関わることの価値）を意識し、きめ細やかなアプローチを設定していきます。

- 【A】 ●関わってもらうことを意識した周知・広報と取組を展開
- 思わず関わりたくなるような、多様なメニューを設定
例) 体験イベントや各種取組に係るコンテスト 等
- 【C】 ●何よりもまず、知ってもらうことを意識した周知・広報の徹底
- 知らないうちに 又は いつの間にか関わっている状況を作る
- みどりは別の動機付けを入り口とするコンテンツを用意
例) スポーツ、音楽、健康など幅広く検討。

2 市民総参加の実現に向けた考え方

(5) 効果的な情報発信の考え方

- 令和5年1～3月は、来年度から本格スタートするための準備期間として、**ポスター・チラシを作成し、既存イベントや企業・団体周り等への情報発信をできるところから行っていく**とともに、各局区の魅力的なコンテンツを市内外へ情報発信するために**4月から立ち上げる“かわさきフェア専用HP”を準備**します。
- R5は、国の都市緑化月間や市民イベントが多く行われる**4月と10月を集中期間として広報・PR**を行います。
- 「①知ってもらう広報」については、**段階的に意識醸成を図るため年度ごとに目的を明確**するとともに、**100周年記念事業の象徴的的事业として、取組を知り、関わるきっかけとしても積極的に情報発信**します。
- 「④R5知ってもらう広報」については、A・Bのターゲット層に向けて、改めて**フェアの開催に向けて実感を持ってもらえるよう**、既存イベントや企業・団体周り等の機会を捉えて、出来るところから情報発信を行っていきます。
- またCのターゲット層に向けて、**何よりもまずかわさきフェア自体知ってもらうため**、様々な年齢層ごとに関心の高そうな話題、趣味等など、みどりと**別の動機付けを入口とするコンテンツを用意した上で、広報・PR**します。
- 「②関わってもらう広報」については、A・Bのターゲット層に向けて、**思わず関わりたくなるような多様なメニューを設定**し、広報・PRと取り組みを戦略的に展開します。



(6) 各広報のポスター・チラシのデザイン等の考え方

①知ってもらう広報

- R5**
- フェア開催の認知度向上のため、開催期間や会場等の**基礎情報やロゴ・テーマ、都市の中の川崎のみどりの価値等の伝えたいメッセージ**をしっかりと発信します。
 - 作成したポスター・チラシを**既存イベントや取組、企業・団体周り等への情報発信に活用するとともに、ウェブサイトやデジタルサイン等におけるデジタル媒体にも反映**していきます。
 - 早急に情報発信するため、先行して、情報をフェアの基礎情報や伝えたいメッセージに絞った「**通常版**」を作成した上で、その後、協賛企業ロゴ入り版を作成します。
- R6**
- フェアへの期待感を促進するため、**パースや写真等を用いて具体的な会場イメージ**を分かりやすく発信します。

(ポスター案)



②関わってもらう広報

- 企業共創や市民協働等の取組と伝えたいメッセージを掛け合わせる**ことで情報発信します。
- チラシ等へ**QRコードを掲載**するなど、気軽に情報を取得し、参加を促すような仕掛けを入れます。
- なお、**かわさきフェア専用HP**においては、各局区における**既存のイベントや地域活動をPR**することで、**コア会場以外においても多くの人へ関わってもらうよう取組を推進**します。

3 事業構成等の考え方

(1) 2期開催による事業構成の考え方

- 地域資源や特色を捉え**、効果的なみどりのみせ方や既存イベントとの連携により、秋と春それぞれの**季節を感じさせる取組を展開**します。
- 秋開催後、春開催まで約4か月期間が空くことから、この**中断期間を有効活用し、秋に仕込んだ内容が春に芽吹くような、植物調達や協働推進等の各種取組を展開**します。
- 秋開催に使用する一部花材やコンテナ等**は、中断期の活用や適切な管理を行い、**春開催時でも活用**します。

(2) 会場構成の考え方 (全市展開イメージ)

かわさきフェアにおいては、みどりの効果等を感じさせる会場を、**大きく次の3つに分けて全市展開**します。

① エリア (コア会場周辺)

- 駅からコア会場までの主要動線付近にある協賛・連携会場などを、**各エリアのコンセプトを具現化して市内外からの集客を見込むエリアとして設定**。
- 駅からコア会場において多様な主体と連携した、**みどりの効果を感じながら、安全かつ歩いて楽しめる空間づくり**。

② コア会場

- 各エリアのコンセプトに基づき、川崎らしい都市の中のみどりの価値を発信。
- フェアの**主要な行催事等 (公式行事、出展展示等) を実施**するとともに、周辺の地域資源や特色を活かし、**多様な主体との協働・共創による様々な取組のショーケース**となる空間を創出し、**市内外から来場者を呼び込む仕掛けを展開**します。
- **各公園の指定管理者と協議調整した上で、出展展示や行催事、公園内の設えを整備**します。

③ 協賛・連携会場

- 市内の様々なみどりとオープンスペースを活用し、**日常の活動や取組をフェアを通じて発信**し、市内全域でフェアを盛り上げる一体感を醸成します。

会場構成する上での共通した考え方

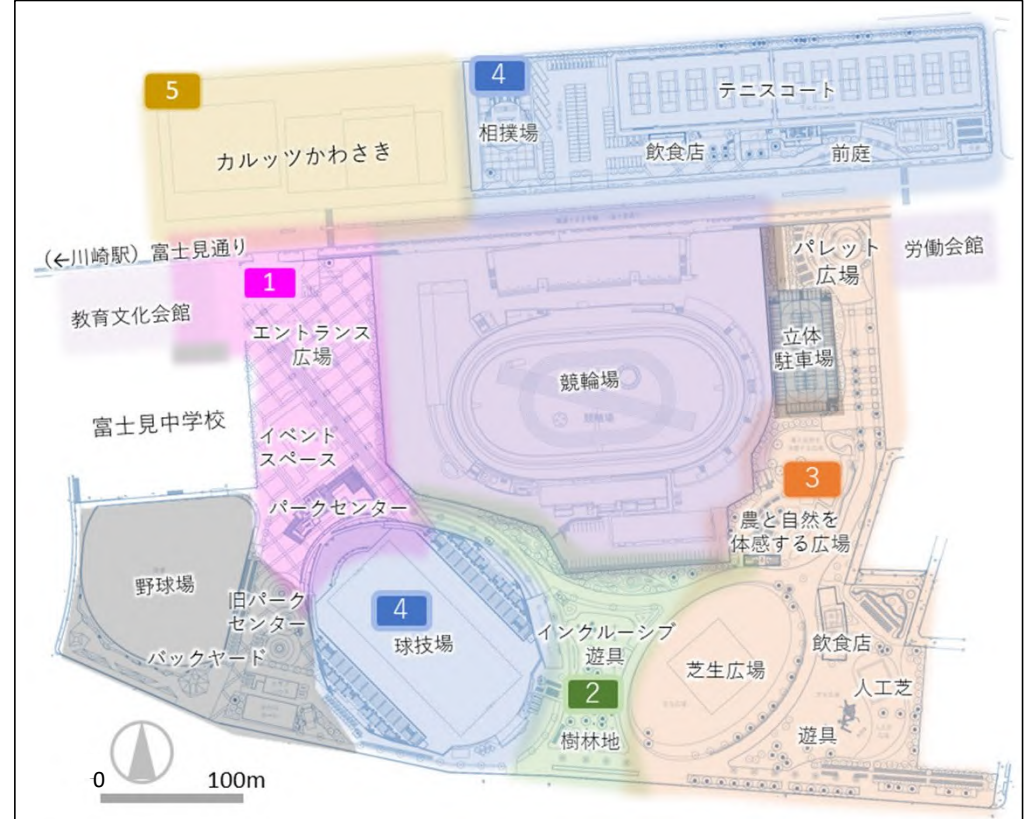
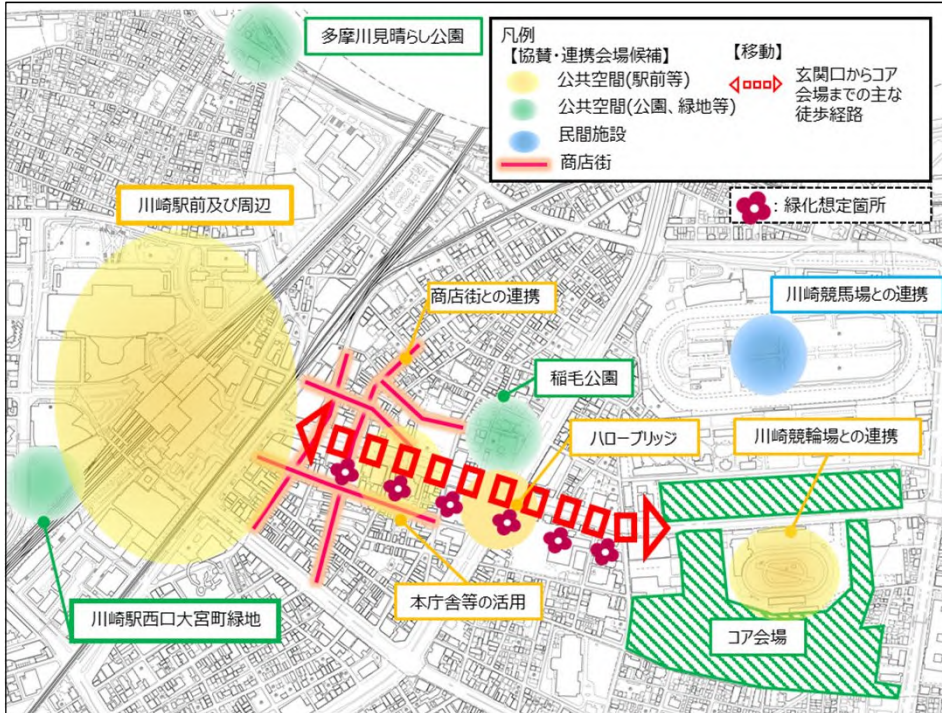
- フェア開催中は、**コア会場及びエリアごとに、主要動線周辺の協賛・連携会場と一体となって、各エリア内の回遊を促す仕掛けを展開**します。
- 各種取組やコンテンツ作成等を通じて、**庁内で把握している各種ボランティア団体等と連携を図り、みどりに関わる人たちのつながりを増やして**いきます。
- **多くの人が行き交う主要駅及び周辺の協賛・連携会場**については、**多様な主体と連携し、フェアを通じて取組やその成果を発信**します。

4 会場計画：エリアにおける主な取組内容及びコア会場のゾーニング

(1) 富士見公園

コンセプト：「多様性」×みどり

協働・共創による、川崎の多様な魅力・文化・技術を反映した、みどりとオープンスペースの利活用を展開し、あらゆる人々が、みどりの価値に触れ、実感できる空間を創出します。



最寄り駅から会場を結ぶ主な取組内容

● 川崎駅前の空間を活用した取組

- ・フェアを契機として、駅前空間を活用した様々な取組を拡大し、「日常」をさらなる賑わいある空間に創出
- ・地域や企業・各局区との取組と連携し、まちを訪れるあらゆる人が、憩い、楽しむことで、街中に人があふれる仕掛けを展開
- ・川崎の多様な魅力・文化が、まち全体にあふれ出す仕掛けとして、フェア開催期間中において、まち全体とみどりを掛け合わせ「特別な日」を演出

● 駅から会場までのアプローチを活用した取組

- ・フェアへの期待感を高める、川崎駅からコア会場までのオープンスペースの活用
 - ・みどりを感じながら歩いて楽しめる空間の創出
- ※本取組を契機として、憩いやにぎわいの創出に向けた道路空間活用を推進

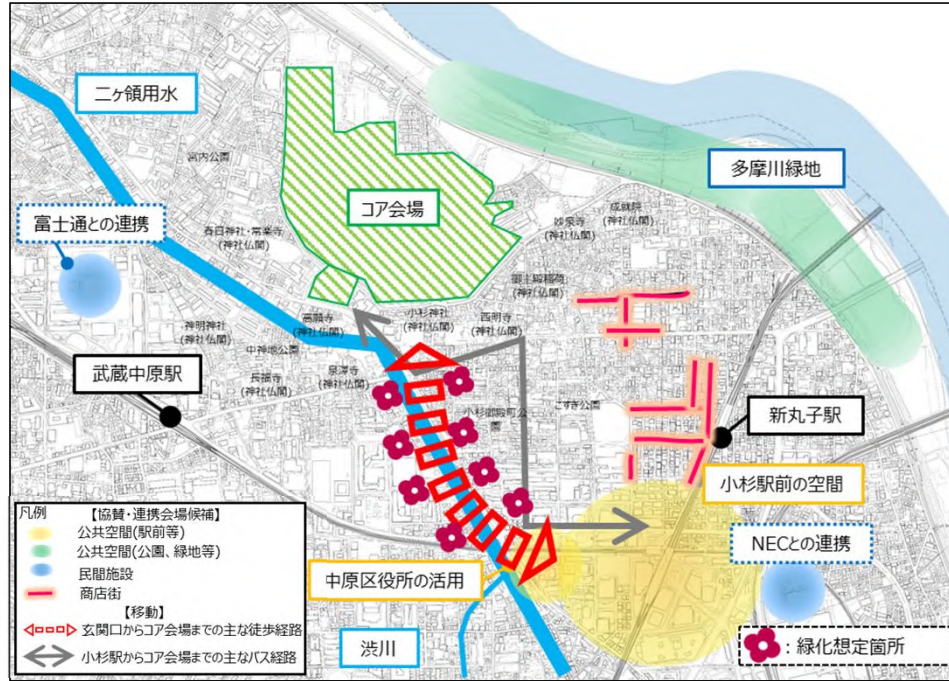
ゾーニングの考え方	ゾーン	内容
	1 エントランスゾーン	かわさきフェアのはじまりにふさわしいおもてなしとコンセプトの発信を展開
	2 グリーンインフラゾーン	川崎を支えてきた産業の歴史と持続可能で豊かな未来をつなげる新たな都会のみどりを発信
	3 ライフスタイルゾーン	都市の生活の中のみどりをとり入れた空間活用を発信
	4 みどり豊かなスポーツ・活動ゾーン	様々な世代が楽しめるスポーツやみどりの魅力に触れ、訪れる人々の交流を育む取組を展開
	5 屋内コンテンツゾーン	緑化祭等をはじめとした公式行事やみどりに係る講習会・シンポジウムなど屋内空間を活用した取組を展開

4 会場計画：エリアにおける主な取組内容 及び コア会場のゾーニング

(2) 等々力緑地

コンセプト：「体験・体感」×みどり

地域の様々なみどりや水辺等を活用し、みどりを身近に感じ、リラックスしながら自由な時間が過ごせる空間を創出
スポーツやアクティビティを中心とした様々な体験・体感の場を創出し、地域のコミュニティの核となる魅力的なみどりとオープンスペースの活用につながる取組を展開



最寄り駅から会場を結ぶ主な取組内容

- **小杉駅前の空間を活用した取組**
 - ・市民、地域団体、企業等と連携し、駅前広場や駅周辺の民間空地、公園緑地、道路空間など、駅周辺の様々な空間において、フェア後の地域のつながりを生み出す魅力的なオープンスペースの活用につながる様々な取組を展開
- **駅から会場までのアプローチ空間を活かした取組**
 - ・二ヶ領用水をはじめ、身近な公園緑地、水辺空間や神社仏閣、商店街等の地域資源とともに、地域の身近なみどりの魅力にふれ、楽しむことで、地域とのつながりを生み出す様々な仕掛けを展開
- **多摩川を活かした取組**
 - ・多摩川の豊かな水資源や水辺環境を活かした遊び・交流の空間の創出により、様々な体験・体感を通じて水やみどりとふれあい、楽しむ取組を展開

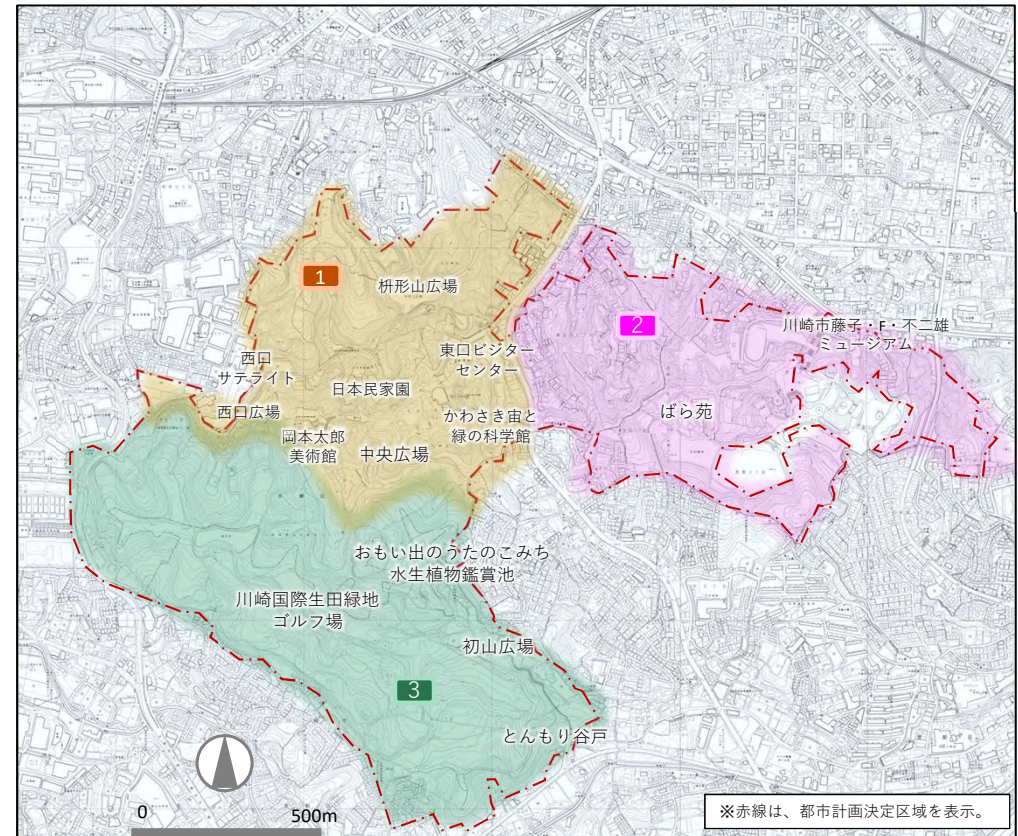
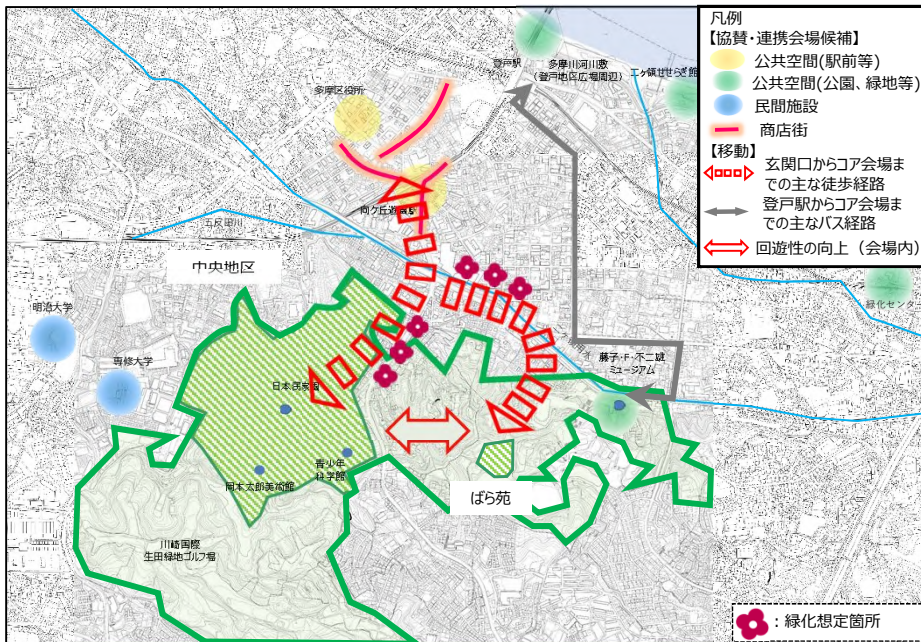
ゾーニングの考え方	1 体験・体感コアゾーン	オープンスペースを活用した、多彩なみどりの体験・体感を集中的に展開
	2 スポーツコラボレーションゾーン	スポーツ団体等との連携により、みどりに囲まれた空間で、スポーツやアクティビティを楽しむコンテンツを展開
	3 ネイチャーコラボレーションゾーン	みどりの活動団体等との連携により、みどりや水辺等の環境を活かした取組を展開

4 会場計画：エリアにおける主な取組内容 及び コア会場のゾーニング

(3) 生田緑地

コンセプト：「歴史・文化」×みどり

協働のプラットフォームである生田緑地マネジメント会議と連携し、これまで培ってきた協働の取組を活かして、歴史・文化を楽しみながら学ぶ様々な取組を展開
人と自然とのつながりの中で、自然を感じ、楽しむことのできる機会を提供し、新たな協働の担い手の確保や「緑地の存在効用（保全）」と利用効用（利用）の調整により、両者が好循環するしくみにつながる取組を展開



最寄り駅から会場を結ぶ主な取組内容	<p>● 駅前及び会場までのアクセス路を楽しむ取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民協働によるばら苑アクセスロードや道路沿いの花壇などの取組を盛り上げ、歩いて楽しめるまちとみどりの魅力発信にむけて、周辺の地元町会や活動団体、文化施設等と連携し、花壇づくりやレスト空間の創出、回遊を促す取組を展開 地域等による道路空間を活用した既存イベントとともに、さらなる賑わいの相乗効果を生み出せるよう、地元商店街等との連携した取組を展開
	<p>● 周辺等と連携した取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然にふれあい、楽しみながら知り、学ぶ場の創出に向けて、川崎国際生田緑地ゴルフ場やコア会場周辺施設等と連携し、体験型プログラムを展開
	<p>● 誰もが楽しめる散策機会の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> 生田緑地内やエリア全体の地形や距離等による移動の負担を軽減することにより、回遊性向上を図り、誰もが楽しめる仕掛けとして、既存の路線バス等の活用に加え、新たなモビリティを導入

ゾーニングの考え方	<p>1 緑の保全・文化・利用ゾーン</p> <p>多様な主体との協働による生田緑地の自然の保全と利用の取組を発信するとともに、各文化施設と連携したコンテンツを展開</p>
	<p>2 花と緑の憩い・賑わい・交流ゾーン</p> <p>ばら苑を中心に、市民のアイデアを取り入れた新たな魅力づくりに向け、憩いや賑わいを創出</p>
	<p>3 里山・レジャー体験ゾーン</p> <p>人と自然とのつながりの中で学びや遊び（原体験）、レジャー等のコンテンツを展開</p>

4 会場計画

(4) 協賛・連携会場

① 基本的な考え方

- 市内の様々なみどりとオープンスペースを活用し、日常の活動や取組をフェアを通じて発信し、市内全域でフェアを盛り上げる一体感を醸成します。
- 市民一人ひとりが、それぞれの暮らしの中で、みどりと関わりを持ち、みどりに親しみ、その効果を実感できる取組を展開します。

<参考：各区の主な特色など>

区	主な特色	主な協賛・連携会場イメージ
川崎	・富士見公園を拠点としたまちの賑わい創出に寄与するまちづくり ・臨海部の魅力的なロケーションを活用した交流と賑わいの創出	川崎駅周辺、 臨海部（キングスカイフロントなど） 他
幸	・御幸公園における梅香事業の推進による地域の魅力創出 ・夢見ヶ崎公園を活用した賑わいの創出、地域コミュニティ形成	新川崎・鹿島田駅周辺、川崎駅西口、 御幸公園、夢見ヶ崎公園 他
中原	・小杉駅周辺の公共空間を活用した居心地がよく住みやすいまちづくり ・等々力緑地におけるパークマネジメントの推進によるまちの賑わい創出	小杉駅周辺、多摩川緑地、 特色ある商店街（ブレーメン通り） 他
高津	・多摩川や二ヶ領用水、橋樹官衙遺跡群など、緑、水辺と一体となった魅力的なまちづくり ・地域資源を活用した持続可能な地域社会(エコシティたかつ)の形成	溝の口駅周辺、多摩川緑地、 二ヶ領用水、橋樹官衙遺跡群 他
宮前	・生田緑地を拠点とした豊かな自然と歴史・文化・芸術の魅力を活かしたまちづくり ・歴史的遺産や農といった地域資源を活用し、緑、水と一体となった魅力的なまちづくり	宮前平・鷺沼駅周辺、菅生緑地、野 川・有馬などの植木の里、平瀬川 他
多摩	・生田緑地を拠点とした豊かな自然と歴史・文化・芸術の魅力を活かしたまちづくり ・里地里山の保全や豊かな自然資源を活用した交流、賑わいの創出	登戸・向ヶ丘遊園駅周辺、多摩川緑地、 緑化センター 他
麻生	・保全緑地における保全と利活用の取組による子どもたちがのびのびと自然にふれあい成長できる空間づくり ・農ある風景の保全と農家・市民と連携した地域農業の振興による魅力的なまちづくり	新百合ヶ丘駅周辺、王禅寺ふるさと公 園、王禅寺四ツ田緑地、黒川・早野・ 岡上などの里地里山・農地 他

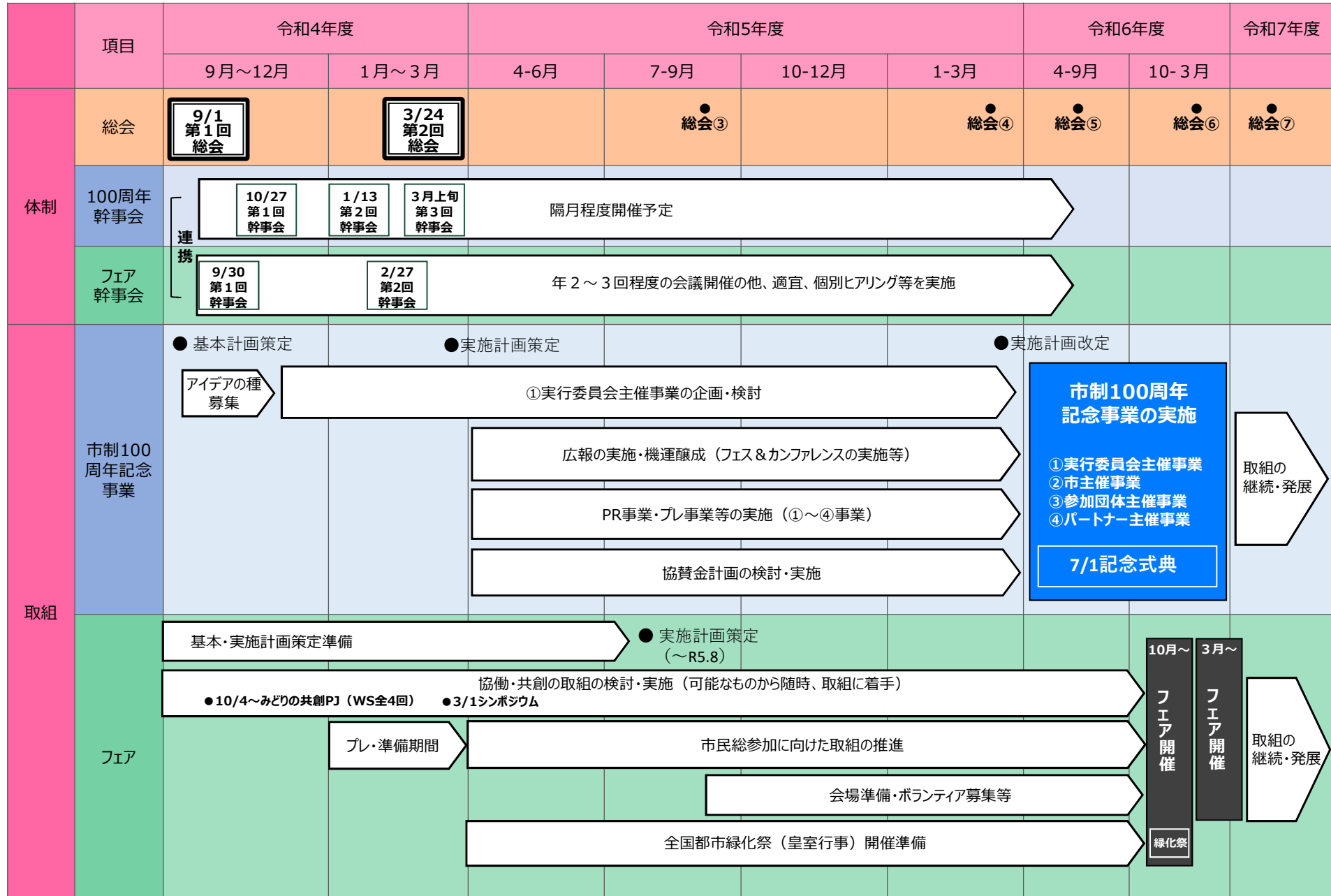
[出展：「全国都市緑化かわさきフェア基本計画骨子」p.24]

② 「市民総参加の実現に向けた考え方」を踏まえた協賛及び連携会場の考え方

- 令和5年度から魅力的なコンテンツ等の周知と広報を一体的に行い、取組を知り、関わるきっかけとなるよう積極的
に取組を進めていくため、大きく協賛・連携会場の枠組みを整理します。※分かりやすい名称を引き続き検討します。

	協賛会場	連携会場
定義	<p>○かわさきフェアの開催期間に限らず、フェアの趣旨に賛同して、盛り上げる取組を実施する場所</p> <p>[主に市民向けの取組]</p>	<p>○フェアの開催期間中に、実行委員会主催又は共催事業として取組を実施する場所</p> <p>○会場計画の次のキーワードのうち、いずれか1つの考え方を盛り込んだ会場</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>・持続可能 … 未来につながる取組</p> <p>・すべての人 … 市民総参加型のフェア</p> <p>・みどりでつなげる… 人とみどり、人と人とのつながりを感じる</p> <p>・多彩なみどり … 街なかの緑地、多摩川、樹林地等を感じる</p> <p>・多様な効果 … 様々なみどりの効果を感じる</p> </div> <p>[市民及び市外からの来場者向けの取組]</p>
取組イメージ	<p>○身近な公園や商業施設等を活用した、花やみどりを体験・体感できる取組。</p> <p>○道路沿いや公園の花壇等での花植え活動。等</p>	<p>○多様な主体との協働・共創による、エリア全体でフェアを感じられる取組。</p> <p>○多くの人が集まる駅や公共空間を活用した、コア会場へとつながる期待感等を醸成する取組。等</p>
みどりのオープンスペース (公園緑地河川)	 <p>まちなかの花壇や身近な公園など</p>	 <p>河川敷や道路空間など</p>
駅周辺・商業施設	 <p>駅前のオープンスペースなど</p>	 <p>駅前のオープンスペースなど</p>
民間施設	 <p>企業等によるコミュニティガーデンや事業者緑化など</p>	 <p>商業施設や商店街など</p>

市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア 今後のスケジュール



川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会
構成団体名簿

2023/2/1

1/5

麻生区文化協会	一般社団法人JFTD	神奈川県タクシー協会川崎支部
アジア航測株式会社	一般社団法人大師ONE博	神奈川県中小企業家同友会川崎支部
味の素株式会社川崎事業所	一般社団法人多摩区ソーシャルデザインセンター	神奈川県中小企業家同友会たま田園支部
アフラック生命保険株式会社	一般社団法人日本公園施設業協会東京支部	神奈川県ビルメンテナンス協会川崎支部
イオンリテール株式会社南関東カンパニー	一般社団法人日本造園建設業協会神奈川県支部	神奈川中央交通株式会社
生田緑地共同事業体	一般社団法人日本ハンギングバスケット協会神奈川支部	株式会社アンス
生田緑地マネジメント会議	一般社団法人日本旅行業協会	株式会社イータウン
一般財団法人川崎沖縄県人会	稲毛神社	株式会社井出コーポレーション
一般財団法人川崎市保育会	INTERNATIONAL STREET FESTIVAL KAWASAKI 実行委員会	株式会社岩田屋
一般財団法人川崎市母子寡婦福祉協議会	「映像のまち・かわさき」推進フォーラム	株式会社エリアブレイン
一般財団法人川崎市まちづくり公社	NECレッドロケッツ	株式会社カジノヤ
一般社団法人神奈川県建築士会川崎支部	ENEOS株式会社	株式会社学研ココファン
一般社団法人神奈川県情報サービス産業協会	FSブルーム株式会社	株式会社カリヨン・カンパニー
一般社団法人神奈川県造園業協会	エリアマネジメント組織鹿島田デイズ	株式会社川崎フロンターレ
一般社団法人神奈川県測量設計業協会川崎支部	オープン川崎 / Code for Kawasaki	株式会社きらぼし銀行
一般社団法人神奈川県バス協会	小田急電鉄株式会社	株式会社グリーバル
一般社団法人川崎建設業協会	小田急バス株式会社	株式会社Creative Green
一般社団法人川崎市空調衛生工業会	小田急不動産株式会社	株式会社グレイスフルマインド
一般社団法人川崎市弘済会	「音楽のまち・かわさき」推進協議会	株式会社ケイエスピー
一般社団法人川崎市交通安全協会	学校法人大西学園	株式会社シーエスデー
一般社団法人川崎市商店街連合会	学校法人カリタス学園	株式会社JTB川崎支店
一般社団法人川崎市観光協会	学校法人昭和大学	株式会社住販サービス 川崎日航ホテル
一般社団法人川崎市食品衛生協会	学校法人聖マリアンナ医科大学	株式会社スピーク
一般社団法人川崎市助産師会	学校法人専修大学	株式会社セブン-イレブン・ジャパン
一般社団法人川崎市鍼灸マッサージ師会	学校法人洗足学園	株式会社 チッタ エンタテイメント
一般社団法人川崎市電設工業会	学校法人玉川学園	株式会社デイ・シイ
一般社団法人川崎市薬剤師会	学校法人東成学園（昭和音楽大学）	株式会社DeNA川崎プレイブサンダース
一般社団法人川崎青年会議所	神奈川県県土整備局	株式会社Den
一般社団法人川崎塗装業協会	神奈川県個人タクシー協会	株式会社東急モールズデベロップメント
一般社団法人川崎読売会	神奈川県産業資源循環協会川崎地区委員会	株式会社東芝

**川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会
構成団体名簿**

2/5

株式会社日本政策投資銀行	川崎市消防団長会	かわさきジャズ実行委員会
株式会社ホテル精養軒	川崎市食生活改善推進員連絡協議会	川崎住宅管理保全建築協同組合
株式会社ホリプロ	川崎市信用保証協会	川崎商工会議所
株式会社みつや園	川崎市スポーツ推進委員連絡協議会	川崎市ラグビーフットボール協会
株式会社横浜銀行	川崎市生活協同組合運営協議会	川崎市レクリエーション連盟
株式会社ヨネヤマ	川崎市青少年育成連盟 一般社団法人川崎市子ども会連盟	川崎市老人福祉施設事業協会
株式会社よみうりサポートアンドサービス	川崎市青少年育成連盟 ガールスカウト川崎市連絡会	川崎市労働組合連合会
株式会社よみうりランド	川崎市青少年育成連盟 川崎海洋少年団	川崎・しんゆり芸術祭実行委員会
川崎アゼリア株式会社	川崎市青少年育成連盟 日本ボーイスカウト川崎地区協議会	川崎信用金庫
川崎河川漁業協同組合	川崎市青少年指導員連絡協議会	川崎たばこ商業協同組合
川崎北間税会	川崎市青年工業経営研究会	川崎地域連合
川崎区文化協会	川崎市全町内会連合会	川崎鶴見臨港バス株式会社
川崎港運協会	川崎市造園建設業協同組合	川崎東京会
川崎工業振興倶楽部	川崎市総合文化団体連絡会	川崎西間税会
川崎サッシ会	川崎市地域教育会議行政区議長会	川崎新田ボクシングジム
川崎市	川崎市地域女性連絡協議会	かわさきファズ株式会社
川崎市あゆみの会	川崎市地球温暖化対策推進会議（CC川崎エコ会議）	川崎フロンターレ後援会
川崎市一般廃棄物処理業連絡協議会	川崎市中央卸売市場北部市場協会	川崎文化会議
川崎市栄養士会	川崎市通信設備連絡協議会	川崎南間税会
川崎市外国人市民代表者会議	川崎市で木育を広め隊	川崎臨港倉庫埠頭株式会社
川崎市川連建設協力会	川崎市道路利用者会議	川崎労働者福祉協議会
川崎市管工事業協同組合	川崎市廃棄物減量指導員連絡協議会	かわさき若者会議
川崎市議会	川崎市PTA連絡協議会	川崎ワカモノLab
川崎市計量協会	川崎市福祉サービス協議会	カワスイ川崎水族館
川崎市工業団体連合会	川崎市文化協会	川崎アート・テイメント株式会社
川崎市更生保護女性連絡協議会	川崎市防火協会連合会	キャノン株式会社川崎事業所
川崎市交通安全母の会連合会	川崎市防犯協会連合会	協同組合川崎市建築家の会
川崎市子ども会議	川崎市保護司会協議会	キングスカイフロントネットワーク協議会
川崎市住宅供給公社	川崎市みどりの事業所推進協議会	グランツリー武蔵小杉
川崎市少年消防クラブ運営委員会	川崎市民生委員児童委員協議会	慶應義塾

**川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会
構成団体名簿**

3/5

京王電鉄株式会社	公益社団法人川崎清港会	東京地方税理士会川崎北支部
京浜急行電鉄株式会社	公益社団法人川崎西法人会	東京地方税理士会川崎西支部
公益財団法人河川財団	公益社団法人全日本不動産協会神奈川県本部川崎支部	東京地方税理士会川崎南支部
公益財団法人川崎市公園緑地協会	公益社団法人日本アメリカンフットボール協会	東京電力パワーグリッド株式会社川崎支社
公益財団法人川崎市国際交流協会	公益社団法人日本家庭園芸普及協会	東京農業大学
公益財団法人川崎市産業振興財団	国土交通省関東地方整備局川崎国道事務所	東邦レオ株式会社
公益財団法人川崎市市民自治財団	国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所	東レ建設株式会社
公益財団法人川崎市生涯学習財団	国土交通省関東地方整備局京浜港湾事務所	特定非営利活動法人アクト川崎
公益財団法人川崎市消防防災指導公社	国土交通省関東地方整備局横浜国道事務所	特定非営利活動法人川崎市障害福祉施設事業協会
公益財団法人川崎市シルバー人材センター	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構	特定非営利活動法人かわさき歴史ガイド協会
公益財団法人川崎市身体障害者協会	幸区文化協会	特定非営利活動法人キーパーソン21
公益財団法人川崎市スポーツ協会	サントリーホールディングス株式会社	特定非営利活動法人しんゆり・芸術のまちづくり
公益財団法人川崎市文化財団	JFEスチール株式会社東日本製鉄所	特定非営利活動法人高津区文化協会
公益財団法人かわさき市民活動センター	社会福祉法人川崎市社会福祉協議会	特定非営利活動法人高津総合型スポーツクラブSELF
公益財団法人かわさき市民しきん	社会福祉法人川崎市社会福祉協議会施設部会児童・母子福祉施設協議会	特定非営利活動法人多摩川エコミュージアム
公益財団法人川崎市老人クラブ連合会	社会福祉法人川崎市社会福祉事業団	特定非営利活動法人多摩川干潟ネットワーク
公益財団法人現代人形劇センター	城南信用金庫	特定非営利活動法人とどろき水辺
公益財団法人東京交響楽団	植育研究所	特定非営利活動法人ピープルデザイン研究所
公益財団法人都市緑化機構	新百合ヶ丘エリアマネジメントコンソーシアム	独立行政法人都市再生機構
公益社団法人神奈川県柔道整復師会川崎支部	住友生命保険相互会社	中日本高速道路株式会社東京支社横浜保安・サービスセンター
公益社団法人神奈川県宅地建物取引業協会川崎北支部	生活クラブ生活協同組合	中原区文化協会
公益社団法人神奈川県宅地建物取引業協会川崎中支部	セレサ川崎農業協同組合	日鉄興和不動産株式会社
公益社団法人神奈川県宅地建物取引業協会川崎南支部	多摩川バーベキュー広場共同事業体	日本貨物鉄道株式会社関東支社
公益社団法人川崎港振興協会	多摩区文化協会	日本政策金融公庫
公益社団法人川崎市医師会	TEAM NETSUGEN	日本電気株式会社玉川事業場
公益社団法人川崎市看護協会	東亜石油株式会社	日本冶金工業株式会社川崎製造所
公益社団法人川崎市歯科医師会	東海旅客鉄道株式会社	日本郵便株式会社川崎港郵便局
公益社団法人川崎市獣医師会	東急株式会社	日本映画大学
公益社団法人川崎市病院協会	東急不動産ホールディングス株式会社	日本たばこ産業株式会社神奈川支社
公益社団法人川崎市幼稚園協会	東京ガスネットワーク株式会社川崎支店	日本ホテル株式会社（ホテルメトロポリタン川崎）

川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会
構成団体名簿

参 与

5/5

朝日新聞社川崎支局
イツツ・コミュニケーションズ株式会社
NHK横浜放送局
株式会社アール・エフ・ラジオ日本
株式会社神奈川新聞社
株式会社ジェイコム湘南・神奈川 町田・川崎局
株式会社時事通信社横浜総局
株式会社タウンニュース社川崎支社
株式会社テレビ神奈川
かわさき市民放送株式会社
共同通信社横浜支局
産経新聞社横浜総局
東京新聞川崎支局
YOUテレビ株式会社
横浜エフエム放送株式会社
読売新聞川崎支局

(五十音順・敬称略)

小計16団体

合計307団体